

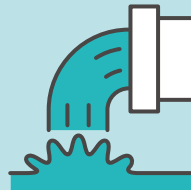
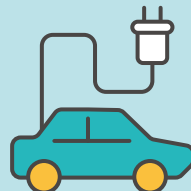
環境経営レポート

2025年版

活動期間 2025年1月～12月



エコアクション21
認証番号0000047



Sugiyama Media Support Co., Ltd.
杉山メディアサポート株式会社

発行日 / 2026年4月1日

01. ごあいさつ



当社は1948年に創業して以来、数多くのお客様とお取引させて頂いております。環境保全、社会貢献を念頭に地域の発展に尽くすことが当社の使命と強く認識し、静岡県浜松市を中心に企業経営をして参りました。

世界情勢による原材料費や物流費の高騰、地球環境においては異常気象など、様々な問題に直面していることは事実として受け止める必要があります。

このような状況だからこそ、今一度当社として何ができるのかを考えるタイミングかとも思います。一番に思うことはやはり、地域から愛される会社でありたいということです。環境保全、地域貢献等を通して、当社を選んで頂ける力をつけていきたいと考えております。

本レポートは、2025年1月から12月の1年間におけるエコアクション21環境経営マネジメントシステム活動を取りまとめたものです。

私どもの活動に対しまして、今後も皆様からの率直なご意見をお待ちしております。

代表取締役 永井 元幸

CONTENTS

名所 浜松城

1. ごあいさつ	1
2. 組織の概要	2～4
3. 主な設備と取り扱い商品のご案内	5
4. 環境経営方針	6
5. 実施体制と主な役割	7
6. 環境経営目標	8
7. 環境経営計画	9
8. 環境経営実績取りまとめと次年度目標	10
9. マテリアルバランス	11
10. 取組結果とその評価、次年度の取組計画	12～21
11. 環境対策・活動紹介	22～25
12. 緊急事態対応訓練	26
13. 内部・外部コミュニケーション	27～28
14. 環境関連法規制等の遵守状況	29
15. 内部監査	30
16. 代表者による全体評価と見直し・指示	31
グリーンプリンティング認定制度の紹介	32
製本課に突撃訪問	33



浜松まつり凧あげ



大草山からの浜名湖



浜松市の木・鳥・花



名物鰻の蒲焼



マツ



ウグイス



みかん

02. 組織の概要

- | | |
|--------------|--|
| 1. 事業所名 | 杉山メディアサポート株式会社 |
| 2. 代表者名 | 代表取締役 永井 元幸 |
| 3. 環境管理責任者 | 生産本部長 清水 亨 |
| 4. 担当者 | 生産・品質管理課 認証事務局 曾我 晴美 |
| 5. 設立 | 1948年4月 |
| 6. 資本金 | 5,600万円 |
| 7. 事業の規模 | 従業員数 : 105名 (2026年4月1日現在)
売上高 : 1,881百万円
延べ床面積 : 8,265㎡
丸塚営業本部 2,452㎡、新都田工場 5,329㎡、静岡営業所 52㎡、東京営業所 432㎡ |
| 8. 認証・登録 | 対象事業所 : 全事業所 |
| 9. 対象の活動 | 総合印刷業（企画・立案から印刷、加工、出荷、在庫管理）、
情報サービス加工業（DTP、データベース構築、WEBホームページ制作等） |
| 10. 主要ワークフロー | 企画提案から、デザイン・印刷・配送までトータルサポート |



トータル品質でお客様の「！」にお答えする

ユースフル クオリティ Useful Quality

機能的で有益なオリジナル商品を
高品質でご提案します。

プリンティング クオリティ Printing Quality

印刷テクノロジーをベースに
クロスメディアマーケティングをご提案します。

ファシリティ クオリティ Facility Quality

オフセット輪転印刷をはじめ、
総合高品質印刷設備でご対応します。

セキュリティ クオリティ Security Quality

セキュリティ対策万全の「情報管理」のもと
宛名印字・封入・封緘・投函を安全ワンストップ。

解決力と提案力

Sugiyama Solution スギヤマ・ソリューション

「解決力」「提案力」「品質力」の3つの力でスピード感のあるご提案をします

02. 組織の概要

11. 事業所所在地・連絡先

丸塚営業本部：〒435-0046 静岡県浜松市中央区丸塚町196-1

TEL 053-467-6000

FAX 053-467-6006

【E-mail】soumu@sugi-p.co.jp

(代表/総務部)



浜松市内をはじめ、西は愛知県、三重県方面、東は静岡県大井川以西を拠点とし、チラシ、カタログ、DM、販促品等幅広い営業活動を展開しています。「解決力」「提案力」「品質力」の3つの力でスピード感のあるご提案をします。また、SDGs目標達成に向けた取り組みを積極的に行っています。



菅原営業本部長

新都田工場：〒431-2103 静岡県浜松市浜名区新都田一丁目10番2号

TEL 053-484-1171

FAX 053-484-1170



新都田工場は、浜松市都田テクノポリス内に1996（平成8）年5月に操業を開始しました。オフセット枚葉印刷、オフセットビジネスフォーム印刷を中心とした事業を行っています。緑豊かなこの地域の環境を維持するため、環境に配慮する取り組みを積極的に行っています。



清水生産本部長

静岡営業所：〒420-0913 静岡県静岡市葵区瀬名川三丁目1番33号

TEL 054-267-3001

FAX 054-267-3003

【E-mail】s-shizuoka@sugi-p.co.jp

(代表)



(株) 静岡メディアサポート様2階

静岡営業所は1995（平成7）年の開設以来、静岡市内をはじめ、県外にも営業活動を広げています。静岡営業所のコンセプトは、地元企業に密着し、地域の発展に寄与することを目指しています。課員は少人数ですが営業活動と企画・制作を効率よくこなし、お客様にご満足いただける製品をお届けします。



池谷営業所長

東京営業所：〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町33-8 元代々木サンサンビル2階

TEL 03-5761-6400

FAX 03-5761-6401

【E-mail】s-tokyo@sugi-p.co.jp

(代表)



東京営業所は、大都市での営業活動を展開するため1996（平成8）年4月に開設しました。営業拠点は、東京都内を中心に、関東地区に広めて活動をしています。いつも笑顔で元気よく、迅速にお客様の要望にお応えすることを心掛けて活動しています。



北野営業所長

02. 組織の概要

【沿革】

1948年	4月	会社創業
1972年	11月	株式会社杉山印刷に改組
1980年	9月	浜松市上新屋町に本社工場新築移転
1990年	5月	丸塚町に印刷工場完成
1995年	8月	静岡営業所開設
1996年	4月	東京営業所開設
	5月	新都田テクノポリスに本社工場移転
1998年	8月	南伊場営業本部開設
2004年	3月	浜松市東区丸塚町にオフリン工場完成
	9月	プライバシーマーク取得
	11月	エコアクション21認証取得
2007年	10月	「グリーンプリンティング」工場認定取得
2008年	5月	FSC®森林認証制度 CoC認証取得
	10月	「杉山メディアサポート株式会社」に社名変更
2010年	1月	メディア・ユニバーサルデザイン協会正会員に入会
2012年	1月	平成23年度「浜松市新エネ・省エネトップランナー認定制度」エコ事業所部門AA認定
2013年	1月	平成24年度「浜松市新エネ・省エネトップランナー認定制度」エコ事業所部門AA認定
	9月	「全印工連CSR認定制度」ワンスター認定取得
2014年	1月	平成25年度「浜松市新エネ・省エネトップランナー認定制度」エコ事業所部門AAA認定
2015年	2月	平成26年度「浜松市新エネ・省エネトップランナー認定制度」Sランク認定
	9月	「全印工連CSR認定制度」ツースター認定取得
	12月	日本印刷産業機械工業会 Japan Color 標準印刷認証取得
2016年	4月	「おりやすくん」「My Allergy」商標登録
2021年	11月	浜松市SDGs推進プラットフォーム入会
2024年	4月	代表取締役交代 永井元幸代表取締役就任

【受賞履歴】

2011年	9月	「第10回印刷産業環境優良工場表彰」 奨励賞 受賞
2013年	3月	「ふじのくにエコチャレンジACTION」 優秀賞 受賞
2014年	9月	「第13回 印刷産業環境優良工場表彰」 日本印刷産業連合会 特別賞 受賞
2015年	1月	「第8回 メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」 経済産業大臣賞 優秀賞 受賞
	1月	「第8回 静岡県 MUDデザインコンテスト」 最優秀賞(グランプリ) 受賞
	2月	平成26年度「浜松市新エネ・省エネトップランナー」 特別賞 受賞
	8月	「第14回 印刷産業環境優良工場表彰」 日本印刷産業連合会会長賞 受賞
	10月	「第9回 静岡県 MUDデザインコンテスト」 一般部門 優秀賞(準グランプリ) 受賞
	11月	エコアクション21 「認証・登録10年継続記念」 表彰受賞
	12月	「第9回 メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」 一般部門 佳作 受賞
2016年	8月	「第15回 印刷産業環境優良工場表彰」 経済産業省商務情報政策局長賞 受賞
2017年	2月	「第10回 メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」 一般部門 優秀賞 受賞
	2月	「第10回 静岡県 MUDデザインコンテスト」 一般部門 優秀賞 受賞
2018年	2月	「ふじのくにエコチャレンジTRY」 審査員特別賞 受賞
2020年	2月	「第13回 メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」 一般部門 佳作 受賞
	3月	令和元年度「浜松市企業のCSR活動表彰」 ローカル活動部門 入賞
2021年	1月	「第13回 メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」 一般部門 佳作 受賞
	2月	「第24回 環境コミュニケーション大賞」 環境経営レポート部門 優良賞 受賞
	3月	令和2年度「浜松市企業のCSR活動表彰」 特別賞 受賞
2022年	1月	「第15回 メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」 一般部門 経済産業大臣賞 受賞
2025年	1月	「エコドライブキャンペーン」 新都田工場チーム第2位

【認証取得】



エコアクション21 認証・登録制度



プライバシーマーク制度



グリーンプリンティング認定制度



メディア・ユニバーサル・デザイン協会 正会員



FSC® 森林認証制度 CoC認証



Japan Color標準印刷認証制度



当社の環境経営レポート2019年版が、第24回環境コミュニケーション大賞 環境経営レポート部門にて、応募数114点の中から「優良賞（審査委員長賞）」を受賞いたしました。



2004年11月26日
認証登録

03. 主な設備と取扱い商品のご案内

オフセット印刷

枚葉印刷機



枚葉印刷機は、1枚ずつの紙に印刷するため、紙のサイズや厚みが変わっても印刷することができ、チラシや冊子等を印刷するのに適した印刷機です。

当社新都田工場は枚葉印刷機を5台、その内1台は表裏を同時に印刷することができるものを設置しています。

輪転印刷機



輪転印刷機は、ロール紙から連続して印刷され、印刷後すぐに大型乾燥機でインキを乾かし冷却装置で温度を下げ、カットされ、折り加工や梱包処理もできます。

枚葉印刷機に比べ生産性が高く大部数のチラシや雑誌・書籍の印刷などに向いています。当社丸塚営業本部オフリン工場には、輪転印刷機を2台設置しています。

オンデマンド印刷



オンデマンド印刷とは、必要な時に必要な数だけ印刷することができる印刷方式のことです。

版を作らずデジタルデータから直接出力する印刷方式で、少部数や短納期、パーソナライズされた印刷に適しています。当社新都田工場に1台設置しています。

オフラインメディア (印刷媒体)

質の高いクリエイティブワークと印刷技術で、プロモーションを応援します。



カタログ



リーフレット



チラシ



ダイレクトメール

当社の主な取り扱い商品

カタログ、リーフレット、チラシ、マニュアル、取扱説明書、帳票類、社内報、CSR報告書、カレンダー、ダイレクトメールなどを時代の一步先行くアイデアとソリューションで、お客さまのあらゆるニーズに全力で応えています。

オンラインメディア (Web)

多彩なクロスメディアを使い分け、狙ったユーザーに情報を分かり易く伝えます。



webサイト制作・構築



インターネット広告



クロスメディア

電子カタログ・書籍

iPadアプリ開発

3DCG制作

Web サイト(ホームページ)を基本として、リスティング広告やディスプレイ広告、ソーシャルメディア広告などそれぞれの特性や費用対効果を示し、目的に応じた適切なプランをご提案します。

販売グッズ・ノベルティ

集客・販売促進に役立つアイテムをご提案いたします。



ボックスティッシュ・ポケットティッシュ・ラップ



タオル



ボールペン

企業のCIやキャンペーンのマスコット、キャッチフレーズ、商品紹介やメッセージ、または商品の認知度の向上や消費者の購入を促す効果を期待し新商品などのキャンペーンで配布するグッズなど、ご希望に応じたオリジナルデザインで承ります。

04. 環境経営方針

当社は、環境経営方針をここに定め、誓約します。当社の企業理念や経営における課題のチャンスを踏まえて定めた基本方針、行動指針などを従業員に周知するとともに、社会に知ってもらうために公表いたします。

環境経営方針

基本方針

杉山メディアサポート株式会社は、全てのステークホルダーの皆さまとの関係を重視し、環境保全、社会貢献に励み、地域の発展に尽くすことが当社の使命と強く認識し、企業経営を推進してまいります。

行動指針

地球温暖化の防止・循環型社会の構築・生物多様性の保全など、持続可能な社会の実現に向けての環境問題に対する活動を印刷業という本業を通して、限りある資源の有効活用、廃棄物の削減及び環境汚染の防止などの環境活動を自主的・積極的に取組めます。

健全な職場環境を維持し、よりよい商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが重要だと考え、ここに「環境経営方針」を定め、従業員一丸となり継続的に環境経営活動に取り組んでまいります。

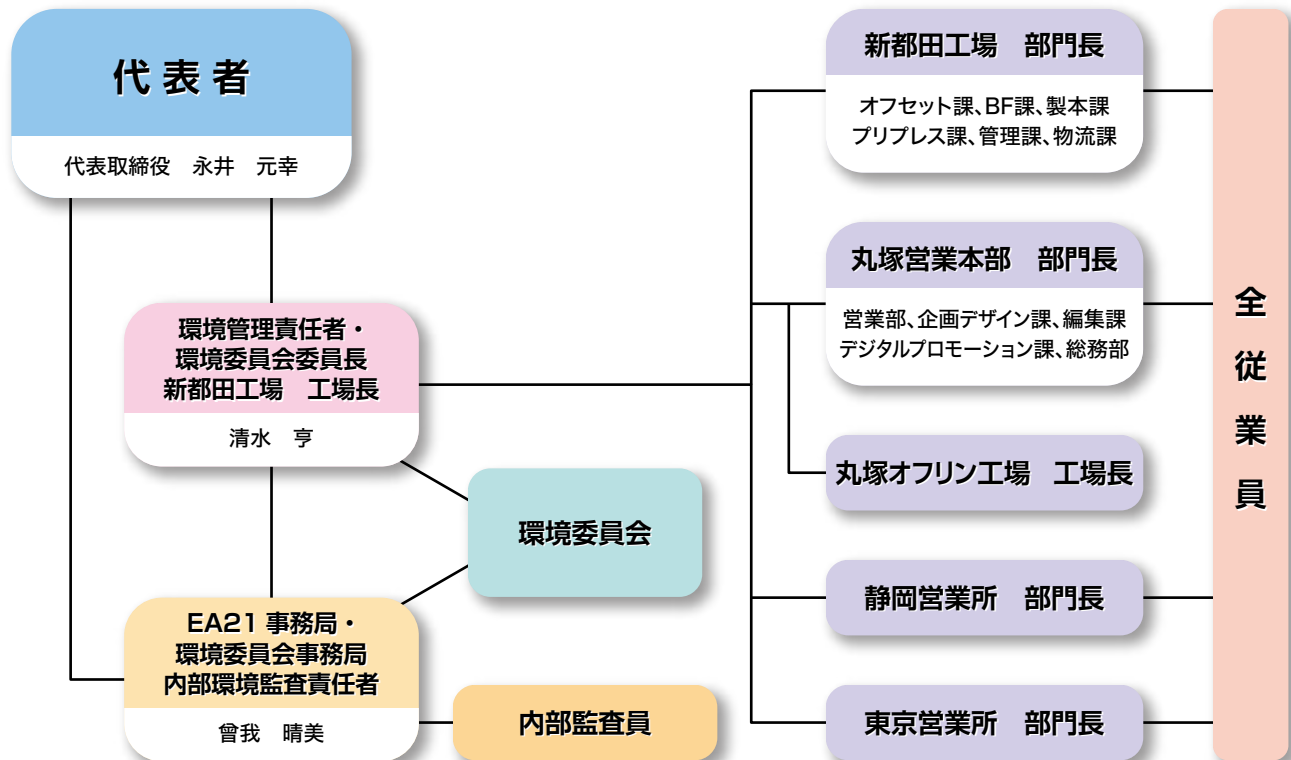
- 1 全従業員による活動**
環境委員会を中心とする体制を構築し、各自の役割と責任を定め全従業員による活動とします。
- 2 目標の設定と継続的な取組み**
経営における課題とチャンスを踏まえ、環境経営目標と環境経営計画を定め、環境経営の継続的改善を図ります。
- 3 環境配慮型製品のサービス推進**
環境に配慮した資材を使用しての製品づくりを顧客に提案・推進し、顧客の環境保全活動の支援に努めます。
FSC®認証製品を推進し、顧客の受注拡大に努めます。
- 4 環境に配慮した企業活動の取組み**
環境影響が小さく、顧客に満足いただける安全で品質の高い商品・サービスを『One Stop. Total Support』します。
- 5 エネルギーに対する取組み**
投入エネルギーを削減し二酸化炭素排出量を削減します。
- 6 廃棄物に対する取組み**
省資源を重視した製品づくりと、資源の有効活用を促進するためリサイクル活動を推進し、廃棄物排出量の削減に努めます。
- 7 環境関連法規制に対する取組み**
事業活動にかかる環境関連の法規制を遵守し、全てのステークホルダーとの信頼関係を維持します。
- 8 有害物質に対する取組み**
使用する有機溶剤等は環境負荷と健康障害の少ない物を選択し、使用量の削減と適正管理に努めます。
- 9 従業員による環境への取組み**
全従業員に対して環境教育訓練等を実施し、環境に対する意識を向上させ行動させます。地域活動や社会貢献活動に積極的に取組めます。
- 10 環境活動に関する情報の提供**
全従業員に対し環境経営方針を周知徹底するほか、ホームページ等を通じて当社の環境への取組みを地域社会に情報提供します。

2003年9月1日 制定
2024年4月1日 改定

杉山メディアサポート株式会社 代表取締役 永井 元幸

05. 実施体制と主な役割

エコアクション21を運用、維持し、効果的で必要十分な環境経営を実践するため、代表者をトップとする全従業員が参加した実施体制を構築し、併せて代表者や各部門の責任者及び担当者などの役割、責任及び権限を次の通り定めています。



役割	責任及び権限
代表者	- 環境管理責任者の任命 - 環境経営方針の制定 - 内部環境監査責任者の任命 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技術者の準備 - 環境経営システムの評価と見直しの実施 - 環境経営レポート公開の承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境部門長と取組項目責任者の任命 - 環境経営目標と計画、教育訓練の承認 - 環境関連法規等の承認 - 環境委員会責任者
E A 21事務局	- 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 - 環境経営目標と計画、教育訓練の策定 - 環境関連法規等の更新 - 内部監査員の決定 - 環境関連内外コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成
部門責任者	- 環境経営方針の周知 - 環境経営目標の実施及び達成状況の報告 - 問題点の発見と是正及び予防処置の実施
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

毎月開催している安全衛生委員会をのりて実施している環境委員会では、E A 2 1 事務局より「環境経営システム」運営における問題点や環境負荷物質使用量、環境関連法改正、環境問題などの報告と工場内での対策等を協議しています。協議の内容は議事録にまとめ、問題が発生した場合は、「問題点は正/予防処置票」に沿って迅速な是正処置（再発防止）に努めています。



06. 環境経営目標

当社は、顧客からの発注に従って製品を生産する受注生産のため、環境経営目標の基準年はスライド方式を採用していますが、前年度の経営状況を踏まえ、当年は2023年実績を基準とした目標値を策定しました。

環境への影響		環境経営目標項目	指標	単位	2023年度実績	2025年度目標		中長期目標 基準年比削減目標		
					基準年	基準年比削減目標	目標値	2026年	2027年	2028年
生活環境への影響・地球環境への影響	大気汚染 地球温暖化	二酸化炭素排出量削減 (Scope 1・2)	総量	kg-CO ₂	783,969.65	2.9%	761,258.78	3.0%	3.1%	3.2%
			原単位	kg-CO ₂ /2工場千枚通し数	4.217	1.2%	4.166	1.3%	1.4%	1.5%
		電力使用量削減	総量	kWh	1,523,822	5.0%	1,447,631	5.4%	5.8%	6.2%
		液化石油ガス (LPG) 使用量削減	総量	kg	14,839.83	7.0%	13,801.04	7.1%	7.2%	7.3%
		都市ガス使用量削減	総量	Nm ³	88,189.85	3.0%	85,544.16	3.1%	3.2%	3.3%
		ガソリン使用量削減	総量	L	16,901.36	5.0%	16,056.30	5.4%	5.8%	6.2%
		軽油使用量削減	総量	L	12,000.97	3.0%	11,640.94	3.1%	3.2%	3.3%
	水質汚濁 資源の枯渇	水使用量削減	総量	m ³	1,460	2.0%	1,430.7	3.0%	4.0%	5.0%
	廃棄物の排出 資源の枯渇	コピー/出力紙使用量削減	総量	枚	649,400	3.0%	629,916	4.0%	5.0%	6.0%
		産業廃棄物総排出量削減 (特別管理産業廃棄物含む)	総量	kg	576,032.83	7.5%	532,830.37	8.0%	8.5%	9.0%
		再資源化率向上	総量	%	96.1	0.6ポイントアップ	96.7	0.8ポイントアップ	1.0ポイントアップ	1.2ポイントアップ
		一般廃棄物総排出量削減	総量	kg	194.0	1.0%	192.0	1.2%	1.4%	1.6%
生活環境・地球環境・生命体への影響	大気汚染 人の健康被害	化学物質使用量削減	総量	kg	18,719.85	5.0%	17,783.86	5.2%	5.4%	5.6%
		PRTR法 第一種化学物質質量削減	総量	kg	192.83	10.0%	173.55	10.50%	11.00%	11.50%
印刷通し数			総量	オフリン工場通し数	74,896,477					
			総量	新都田工場通し数	111,030,379					
			総量	2工場通し数計	185,926,856					

環境への影響		環境経営目標項目	指標	単位	2023年度実績	2025年度目標		中長期目標 基準年比増加目標		
					基準年	基準年比増加目標	目標値	2026年	2027年	2028年
環境経営の推進	製品への環境配慮・サービス提供	環境配慮型製品製造量増加	総量	kg	18,433.54	3.0%	18,986.54	4.0%	5.0%	6.0%
		FSC認証製品受注件数増加	総量	件	37	5件	42	6件	7件	8件
	社会貢献活動	会社周辺清掃活動	総量	回/年	8		2	2	2	2
		地域清掃活動参加	総量	回/年	1		1	1	1	1
		交通安全街頭立哨活動	総量	回/年	11		4	4	4	4
		エコキャップ運動	総量	個	6,450		5,000	5,000	5,000	5,000

※液化石油ガス (LPG) は新都田工場の空調機に使用しています
※都市ガスは丸塚営業本部オフリン工場の印刷乾燥機に使用しています
※産業廃棄物及び再資源化率は、丸塚営業本部と新都田工場からの排出量と再資源量の比率です
※2023年は特別管理産業廃棄物 (廃アルカリ) の排出はありましたが、2024年以降の排出はありません
※一般廃棄物は東京営業所の廃棄物です
※静岡営業所の一般廃棄物は、事務所の賃貸主である (株) 静岡メディアサポート様に排出をお願いしています

二酸化炭素排出係数・・・

令和3年 (2021年) 度実績 二酸化炭素排出係数 (調整後排出係数)
丸塚営業本部、新都田工場、静岡営業所 / サーラeエナジー : 0.309kg-CO₂
新都田工場駐車場 / 中部電力ミライズ : 0.382kg-CO₂
東京営業所 / 東京電力エナジーパートナー : 0.451kg-CO₂

二酸化炭素排出量原単位・・・

二酸化炭素排出量÷2工場通し数x1,000枚



07. 環境経営計画

環境経営計画は、経営における課題とチャンスの明確化、環境経営方針、環境経営目標、SDGsの達成に向けた取り組み等を踏まえ、次の表の通り策定しています。なお、同環境経営計画には環境経営目標を達成するための具体的な手段、日程及び取組強化部門を定めていますが、年間を通じ全従業員が一丸となって取り組みをするものとしています。

環境への影響	環境経営目標項目	目標達成手段	取組強化部門	取組スケジュール					
				1月	2月	3月	4月	5月	6月
				7月	8月	9月	10月	11月	12月
生活環境への影響・地球環境への影響	大気汚染・地球温暖化	電力使用量削減	・環境強化月間ポスター掲示	全事業所	EA21事務局				○
			・空調温度の適正管理（冷房27℃、暖房22℃）	新都田工場	製本課	○	○		○
				丸塚営業本部	3階事務所 総務部	○	○	○	○
			・デマンド監視装置によるピークカット	新都田工場	生産管理課		目標決定		設定変更
				丸塚営業本部	3階事務所 総務部	○	○	○	○
			・空調機、エアコンのフィルター清掃	新都田工場	オフセット課	○	○		○
				丸塚営業本部	3階事務所 総務部	○	○	○	○
			・トイレ便座の温度設定 （夏季/電源OFF、冬季/低温設定）と タイマー化（ON/7:00、OFF/22:00）	新都田工場	2階女子トイレ 生産管理課	○	○	○	○
				丸塚営業本部	3階女子トイレ 情報管理課 3階女子トイレ 総務部	○	○	○	○
			・作業フロアの集約	新都田工場	プリプレス課	←移動→			
			・未使用フロア消灯、昼休み消灯	丸塚営業本部	オフリン課	← 通年 →			
			・外灯タイマーの時節設定	新都田工場	管理課	○		○	○
		自動車燃料使用量削減	・走行距離と燃料使用量のチェック	新都田工場	物流課	○	○	○	○
				丸塚営業本部	営業部	○	○	○	○
				静岡営業所	営業部	○	○	○	○
		ガス使用量削減	・空調機のフィルター清掃 ※LPG	新都田工場	オフセット課	← 最低毎月1回実施 →			
			・省エネ機器への更新（ガス空調機）※LPG	新都田工場	オフセット課				
			・印刷がない時、休憩時は電源OFF ※都市ガス	丸塚営業本部	オフリン課	← 通年 →			
	水質汚濁・資源枯渇	上水使用量削減	・環境強化月間ポスター掲示	全事務所	EA21事務局				○
			・敷地内、工場内水漏れ点検	新都田工場	EA21事務局	← 通年 → 月3回実施			
	廃棄物排出・資源の枯渇	紙使用量削減	・PDF化と集約印刷機能の活用	新都田工場	生産管理課	← 通年 →			
		リサイクル活動	・プラスチック製クリアホルダーの回収	新都田工場	情報管理課	← 通年 →			
			・トイレトーパー芯分別廃棄	新都田工場	EA21事務局	← 通年 →			
		産業廃棄物排出量の削減・再資源化率向上	・印刷準備紙は使用済み準備紙を再利用	新都田工場	オフセット課	← 通年 →			
			・コピー、出力紙は裏紙を再利用	丸塚営業本部	営業部	← 通年 →			
			・廃棄物の分別指導	新都田工場	EA21事務局		○	○	
		一般廃棄物排出量削減	・捨てる前に裏紙やメモ紙に再利用	東京営業所		← 通年 →			
生活環境・地球環境・生命体への影響	大気汚染・人の健康被害	化学物質使用量削減	・洗浄剤、H液等化学物質の代替品検討	新都田工場	オフセット課	← 通年 →			
			・過度な使用をなくす	丸塚営業本部	オフリン課	← 通年 →			
			・化学物質リスクアセスメント実施	新都田工場	安全衛生委員会			←洗い出し→	
製品への環境配慮	サービスの提供	FSC認証製品製造量増加受注拡大	・イベント参加による製品のPR	丸塚営業本部	営業部	← リスク見積、軽減措置 →			
						○ 参加		企画	製作



08. 環境経営実績取りまとめと次年度目標

**point** 目標評価基準

目標達成率が100%以上  **達成!!**

目標達成率が95%100%未満  **ほぼ達成**

目標達成率が95%未満  **未達成...**

環境への影響		環境経営目標項目	指標	単位	2025年度実績			2026年度目標	
					実績値	目標達成率		2025年度実績基準	
生活環境への影響・地球環境への影響	大気汚染 地球温暖化	二酸化炭素排出量削減 (Scope 1・2)	総量	kg-CO ₂	730,555.10	104.2%	😄	3.1%	708,155.08
			原単位	kg-CO ₂ /2工場千枚通し数	4.183	99.6%	😊	1.2%	4.183
		電力使用量削減	総量	kWh	1,454,645	99.5%	😊	5.0%	1,381,913
		液化石油ガス（LPG）使用量削減	総量	kg	15,686.46	88.0%	😓	5.0%	14,902.14
		都市ガス使用量削減	総量	Nm ³	76,472.06	111.9%	😄	5.0%	72,648.46
		ガソリン使用量削減	総量	L	11,717.56	137.0%	😄	3.0%	11,366.03
		軽油使用量削減	総量	L	13,425.55	86.7%	😓	2.0%	13,157.04
	水質汚濁 資源の枯渇	水使用量削減	総量	m ³	1,501.0	95.3%	😊	3.0%	1,456.0
	廃棄物の排出 資源の枯渇	コピー/出力紙使用量削減	総量	枚	606,276	103.9%	😄	3.0%	588,088
		産業廃棄物総排出量削減 (特別管理産業廃棄物含む)	総量	kg	544,369.00	97.9%	😊	5.0%	517,150.55
		再資源化率向上	総量	%	98.2	1.5ポイントアップ	😄	0.5ポイントアップ	98.7
		一般廃棄物総排出量削減	総量	kg	181.8	105.6%	😄	1.0%	180.0
生活環境・地球環境・生命体への影響	大気汚染 人の健康被害	化学物質使用量削減	総量	kg	18,027.15	98.7%	😊	1.0%	17,846.88
		PRTR法 第一種化学物質量削減	総量	kg	4.43	3917.5%	😄	1.50%	4.36
印刷通し数			総量	オフリン工場 通し数	61,784,007	※代表者指示により、次年度は今年度実績を基準年とするため、8ページの中長期目標で定めた削減目標とは一致しません			
			総量	新都田工場 通し数	112,860,005				
			総量	2工場通し数計	174,644,012				

環境への影響		環境経営目標項目	指標	単位	2025年度実績			2026年度目標	
					実績値	目標達成率評価		2025年度実績基準	
環境経営の推進	製品への 環境配慮・ サービス提供	環境配慮型製品製造量増加	総量	kg	20,501.20	108.0%	😄	3.0%	21,116.24
		FSC認証製品受注件数増加	総量	件	65	154.8%	😄	5	70
	社会貢献活動	会社周辺清掃活動	総量	回／年	2				2
		地域清掃活動参加	総量	回／年	1				1
		交通安全街頭立哨活動	総量	回／年	4				4
		エコキャップ運動	総量	個	5,000				5,000

※液化石油ガス (LPG) は新都田工場の空調機に使用しています
※都市ガスは丸塚営業本部オフリン工場の印刷乾燥機に使用しています
※産業廃棄物及び再資源化率は、丸塚営業本部と新都田工場からの排出量と再資源量の比率です
※2023年は特別管理産業廃棄物 (廃アルカリ) の排出はありましたが、2024年以降の排出はありません
※一般廃棄物は東京営業所の廃棄物です
※静岡営業所の一般廃棄物は、事務所の賃貸主である (株) 静岡メディアサポート様に排出をお願いしています

二酸化炭素排出係数・・・

令和3年 (2021年) 度実績 二酸化炭素排出係数 (調整後排出係数)
丸塚営業本部、新都田工場、静岡営業所 / サーラeエナジー : 0.309kg-CO₂
新都田工場駐車場 / 中部電力ミライズ : 0.382kg-CO₂
東京営業所 / 東京電力エナジーパートナー : 0.451kg-CO₂

二酸化炭素排出量原単位・・・

二酸化炭素排出量÷2工場通し数x1,000枚



09. マテリアルバランス

>>>> INPUT <<<<

基準年比 -5.1%	エネルギー投入量 
電力	1,454,645kWh
液化石油ガス	15,686.46kg
都市ガス	76,472.06Nm ³
ガソリン	11,717.56L
軽油	13,425.55L

基準年比 +2.8%	水資源 
上水	1,501m ³

基準年比 -24.4%	原材料 
印刷用紙	2,467,110.3kg
インキ	53,230.2kg
印刷版	15,807.0kg

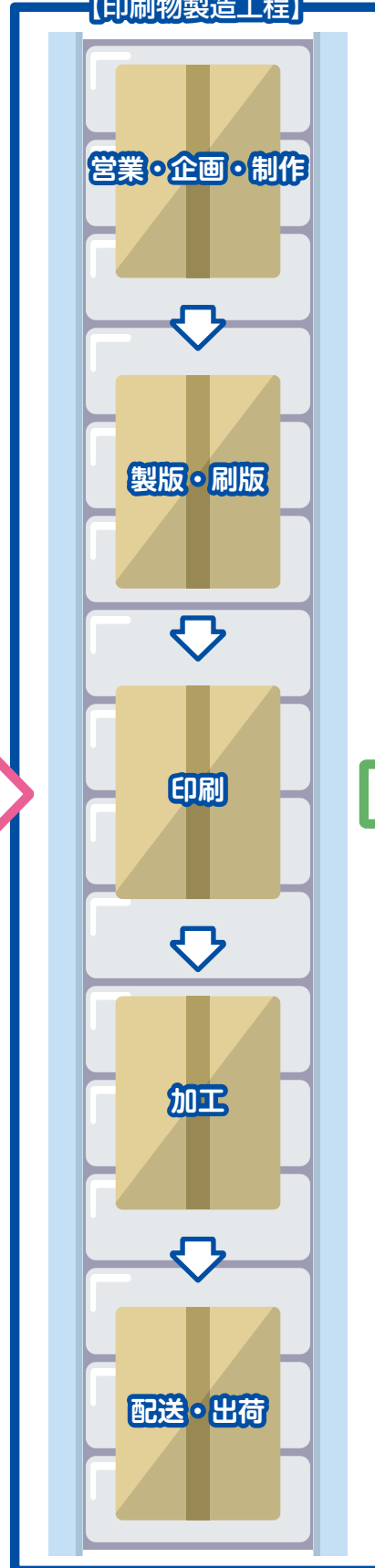
基準年比 -3.7%	化学物質 
総購入量 (製本糊含む)	18,027.15kg
湿し水pH調整剤	2,179.36kg
洗浄剤	4,197.02kg
潤滑油	163.59kg
その他	11,430.13kg

基準年比 -2.8%	製本資材 
製本資材	351.95kg
製本糊	57.05kg

基準年比 -11.4%	梱包資材 
包装紙	3,348.00kg
ダンボール	14,224.62kg
ガムテープ	406.00kg
PPバンド	204.00kg
ストレッチフィルム	1,752.00kg

事業活動

[印刷物製造工程]



<<<< OUTPUT >>>>

基準年比 -6.8%	二酸化炭素排出量 
総排出量	730,555.10kg-CO ₂
電力	450,763.72kg-CO ₂
液化石油ガス	47,042.02kg-CO ₂
都市ガス	170,840.62kg-CO ₂
ガソリン	27,204.19kg-CO ₂
軽油	34,704.55kg-CO ₂

基準年比 +2.8%	排水 
下水道	1,501m ³

基準年比 -55.6%	産業廃棄物排出量 
総排出量	9,860kg
廃プラスチック類	8,100kg
廃油	1,760kg

基準年比 -3.5%	再資源化量 
再資源化率	98.2%
再資源化総量	534,509kg
紙類	481,275kg
ダンボール	20,005kg
機密書類	1,230kg
紙管	12,460kg
インキ缶類	920kg
プラスチック類	1,360kg
印刷版	17,244kg
アルミ類	15kg

基準年比 -6.39%	一般廃棄物排出量 
一般廃棄物	181.8kg

印刷通し総数	174,644,012
オフリン工場	61,784,007
新都田工場	112,860,005

基準年比 -6.8%	二酸化炭素排出量
原単位	4.183

10. 取組結果とその評価・次年度の取組計画

エコアクション21の各種取組事項について、2025年にどのような内容を実施したのか、その結果はどうであったか、また、次年度はそれらの取り組みをどのような方向性に導いて行くのか等について記載します。

Point

目標評価基準
取組評価基準

目標達成率が
100%以上
◎ よくできた

目標達成率が
95%100%未満
● できた

目標達成率が
95%未満
✕ 不十分・できなかった

達成!!

ほぼ達成

未達成...

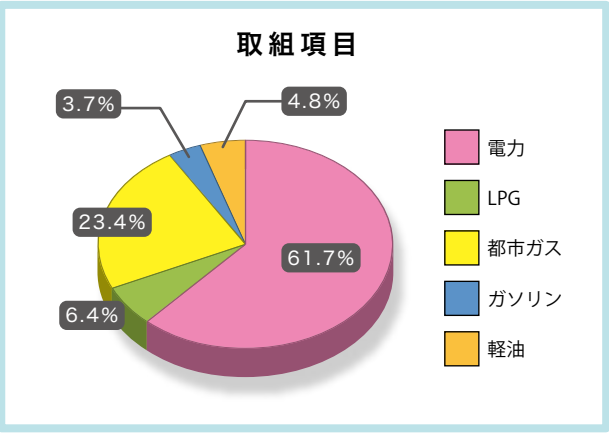
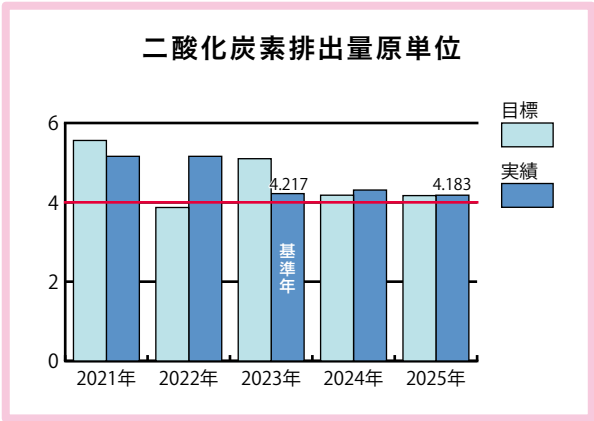
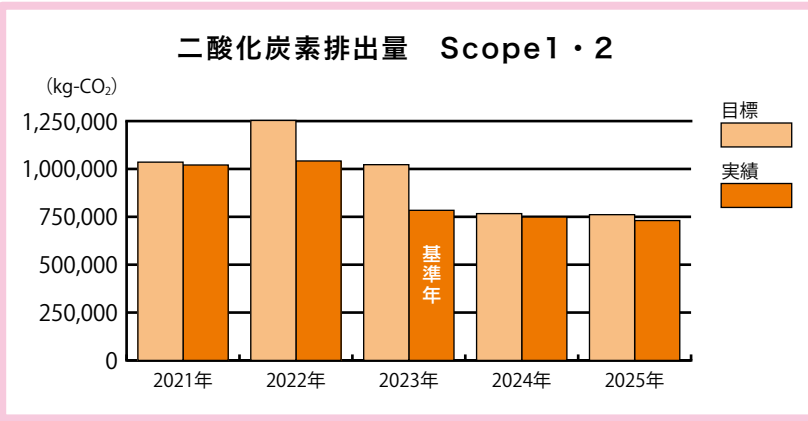
01 二酸化炭素排出量削減



2025年実績	目標達成率	
730,555.10 kg-CO ₂	104.2%	😊
4.183 原単位	99.6%	😊

評価

二酸化炭素排出量及び原単位において目標を達成することができました。原単位においては、使用量と強い相関がある2工場通し数で示したところ低減できているため、この状態で中長期目標に掲げた毎年1.0%程度で進めていきたいと思っています。



取組項目	CO ₂ 排出量		
電力	450,763.71	Scope2	450,763.71
LPG	47,042.02	Scope1	279,791.39
都市ガス	170,840.62		
ガソリン	27,204.19		
軽油	34,704.55		
	730,555.10		730,555.10

二酸化炭素排出係数・・・

令和3年（2021年）度実績 二酸化炭素排出係数（調整後排出係数）
丸塚営業本部、新都田工場、静岡営業所 / サーラエナジー：0.309kg-CO₂
新都田工場駐車場 / 中部電力ミライズ：0.382kg-CO₂
東京営業所 / 東京電力エナジーパートナー：0.451kg-CO₂

二酸化炭素排出量原単位・・・

二酸化炭素排出量÷2工場通し数×1,000枚
2025年2工場通し数実績 174,644,012



10. 取組結果とその評価・次年度の取組計画



目標評価基準

取組評価基準

目標達成率が
100%以上



目標達成率が
95%100%未満



目標達成率が
95%未満



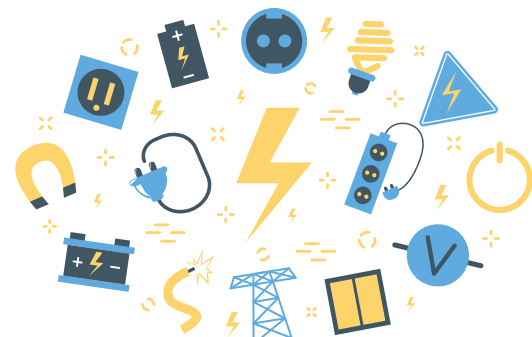
◎ よくできた

● できた

× 不十分・できなかった

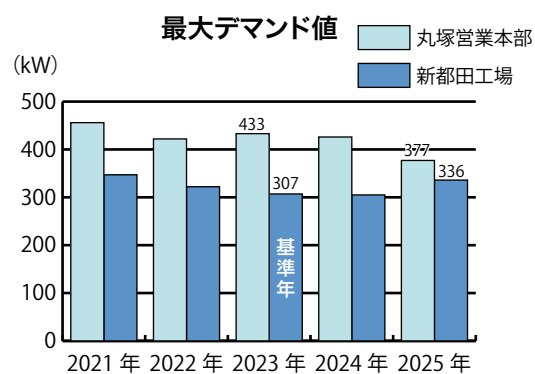
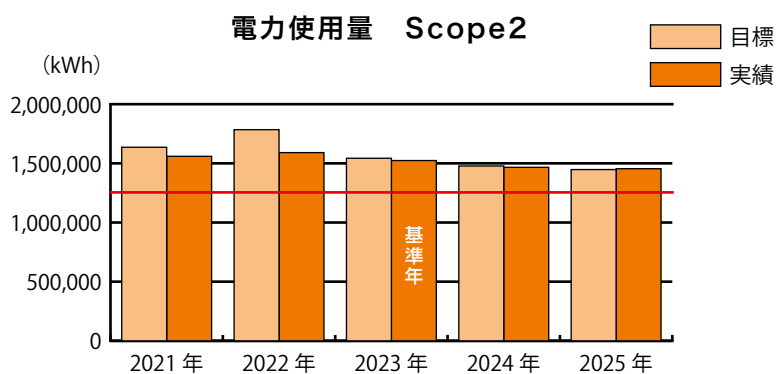
02

電力使用量削減



ELECTRICITY

2025年実績	目標達成率	
1,454,645 kWh	99.5%	😊



目標達成手段	強化部門	取組評価	次年度の取組
環境強化月間ポスター掲示	EA21事務局	◎	継続
空調温度の適正管理 (冷房27℃、暖房22℃)	製本課 総務部	● ◎	継続 部門内、共通意識を高めて取組む
デマンド監視装置によるピークカット	生産管理課 総務部	● ◎	継続 継続
空調機、エアコンのフィルター掃除	オフセット課 総務部	● ◎	毎月実施できていなかったため継続 継続
トイレ便座の温度設定 (夏季/電源OFF、冬季/低温設定)と タイマー利用	生産管理課 情報管理課 総務部	◎ ◎ ◎	継続 取組強化部門物流課 継続 取組強化部門プリプレス課 継続 取組強化部門企画デザイン課
作業フロアの集約	プリプレス課	×	継続
未使用フロア消灯、昼休み消灯	オフリン課	●	継続 次年度再チャレンジ
外灯タイマーの時節設定	管理課	●	継続 日の入り時刻を参考にして設定



プリプレス課は取組みができていないため是正処置票提出 →p30

取組内容



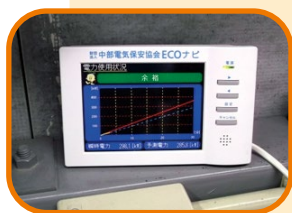
空調設定温度啓発表示とフィルター清掃記録表

フィルター清掃の実施状況は、月末パトロールで確認



キャノピースイッチ活用

照度を落とさない程度で人がいない箇所はキャノピースイッチで蛍光灯を消している
また、未使用フロアと昼休みは完全消灯を徹底



デマンド監視装置は丸塚営業本部・オフリン工場と新都田工場に設置
30 分間のデマンド値が設定値より上昇したら警告音が鳴り、担当部門
から各部門に使用制限の協力要請を実施



節電表示

節電表示でいつでも、誰でも、節電意識を持って行動する
エリアごとのスイッチ位置を表示することで、無駄な電気を使わない



非常灯の LED 照明化

常時通常電源で点灯し、停電時は非常用に自動で切り替わり点灯するタイプ



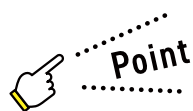
農業用遮光ネット活用

遮光と遮熱を両立した遮光ネットにより、室内の温度上昇を抑えている

評価

電力使用量は生産実績に大きく左右される環境負荷物質で、もっとも使用割合が大きいものです。今年は省エネ機器への改修を実施していないため目標達成率は低かったものの、EA21 事務局による月末パトロールでは各部門で節電対策を積極的に実施していることが確認でき、従業員一人ひとりの節電意識は高いと評価しました。電気基本料金の基となるデマンド値を抑えることは、経費削減に繋がる重要な取組みとなります。今年度目標値を超えた新都田工場は、次年度の取組みとして監視体制を強化していきます。また、空調温度の適正管理で印刷部門がこの取組みを担当する場合は、1 月・12 月は印刷製品に影響を及ぼすため外すことを提案されましたので、今後の取組みに反映させていきます。

10. 取組結果とその評価・次年度の取組計画



目標評価基準

目標達成率が
100%以上



目標達成率が
95%100%未満



目標達成率が
95%未満



取組評価基準

◎ よくできた

● できた

× 不十分・できなかった

03

液化石油ガス(LPG)使用量削減



オフセット課は取組みができていないため是正処置票提出
→p30

2025年実績	目標達成率
15,686.46 kg	88.0%

目標達成手段	強化部門	取組評価	次年度の取組
空調機のフィルター清掃	オフセット課	●	不十分な月があったため継続
省エネ機器への更新	オフセット課	×	更新対象機器があるため継続

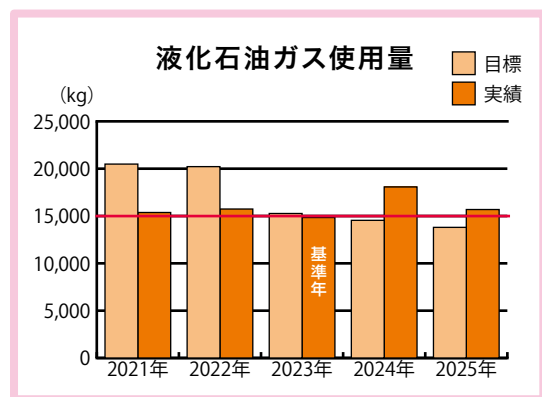
取組内容



空調機のフィルター
掃除を実施してガス
使用量を抑える



空調機の上限温度を
表示



評価

対象部門のオフセット課はフィルター清掃が昨年に引き続き不十分であると判断したため次年度も継続して実施をしていただきます。印刷業務優先ではあるものの空き時間を有効利用してフィルター清掃を実施することを指導しました。浜松市の平均気温は年々高くなっているように思います。これはこの地域に限らず全国的な現象であるため、二酸化炭素排出量削減は重要取組み事項となります。更に12月は異常に温度が上がらず、印刷工程に影響を及ぼすため使用量が増えてしまいました。

04

都市ガス使用量削減

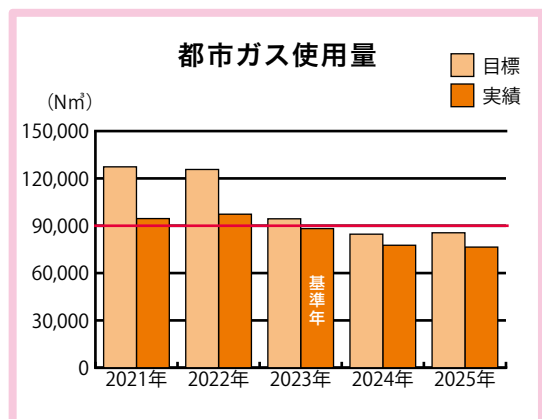
2025年実績	目標達成率
76,472.06 Nm ³	111.9%

目標達成手段	強化部門	取組評価	次年度の取組
印刷がない時や昼休みは電源OFF	オフライン課	●	継続

取組内容



印刷乾燥機の始業前
点検・整備は今後も
継続実施の必要がある



評価

丸塚オフライン工場のオフセット輪転印刷では印刷物の乾燥をするために乾燥機にかけます。この乾燥機は都市ガスを燃焼させて約150~300℃の熱風を生成させます。印刷前の版替え時間や印刷後の洗浄作業中、印刷版待ちの時でもこの乾燥機は稼働しているため作業効率の向上が望まれます。今年度は印刷がない時や昼休みの電源OFFを実施しましたが、十分な取組み状況ではなかったため、次年度も継続して実施していきます。

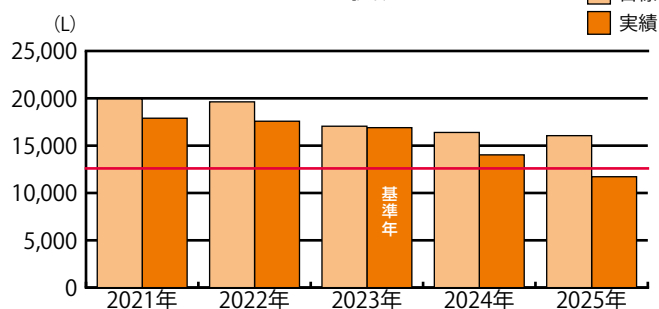
2025年実績	目標達成率
ガソリン 11,717.56 L	137.0% 😊
軽油 13,425.55 L	86.7% 😞

評価

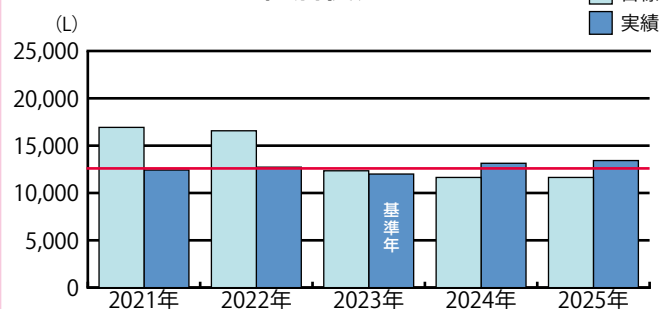
車両使用者による走行距離と給油量を元に燃費を算出することで、燃費向上を意識づけています。また、エコドライブを推進して、地球環境と交通安全への配慮を呼びかけています。

2024年7月ガソリン配送車1台を軽油車に替えたためガソリン使用量は達成でき、軽油量は未達成となりました。近年の原油高によるガソリン価格高騰は給油量に影響しますので、経費削減の意味でも次年度より営業車両は、普通乗用車と軽自動車の燃費を分けて注視していきます。

ガソリン使用量



軽油使用量



営業車・配送車	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	目標	実績
ガソリン車燃費(km/L)	15.50	15.68	15.12	14.97	15.45	15.45	16.06
軽油車燃費(km/L)	9.37	8.33	8.97	8.94	8.85	8.85	8.99

目標達成手段	強化部門	取組評価	次年度の取組
走行距離と燃料使用量のチェック	物流課 丸塚営業本部 静岡営業所 東京営業所	● ◎ ◎ ◎	継続 継続 継続 継続

Check



物流課、丸塚営業本部は燃費意識をさらに高めるためは正処置票提出
→p30

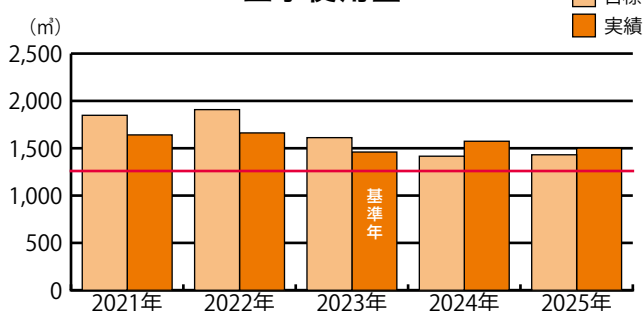


2025年実績	目標達成率
1,501 m³	95.3% 😊

評価

当社の水使用は生活水が35%、生産工程で使用する水が65%となります。2021年11月より印刷アルミ版を現像機を通さない無処理版に変更した分、印刷湿し水交換回数が増えたことと、冬季印刷現場の加湿器使用により水使用量が増えてしまいました。生産工程での水使用量は生産量に左右されるため、次年度も生活水の節水と雨水の利用を従業員に呼びかけていきます。

上水使用量



目標達成手段	強化部門	取組評価	次年度の取組
環境強化月間ポスター掲示	EA21事務局	◎	継続
雨水を利用した散水	管理課	●	敷地内、工場内水漏れ点検



取組内容

水使用量削減



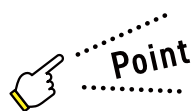
雨水を有効活用して
花壇に散水



節水表示

今年度から敷地内、工場内の点検を開始しました。蛇口パッキンや加湿器水槽の給水フロートの劣化が見つかったため修理をしました。

10. 取組結果とその評価・次年度の取組計画



目標評価基準

取組評価基準

目標達成率が
100%以上

◎ よくできた

達成!!

● できた

目標達成率が
95%100%未満

× 不十分・できなかった

ほぼ達成

目標達成率が
95%未満

未達成...

07

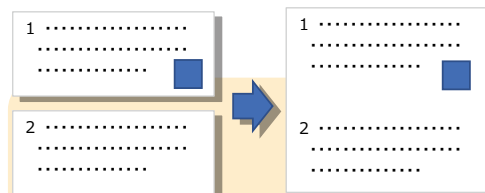
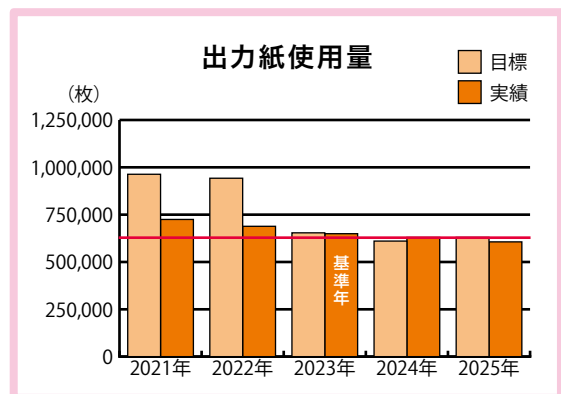
コピー/出力紙使用量削減



取組内容

2025年実績	目標達成率
606,276 枚	103.9%

目標達成手段	強化部門	取組評価	次年度の取組
PDF化と集約印刷機能の活用	生産管理課	●	継続



コピー・出力には、
複合機の縮小・集約機能を活用

評価

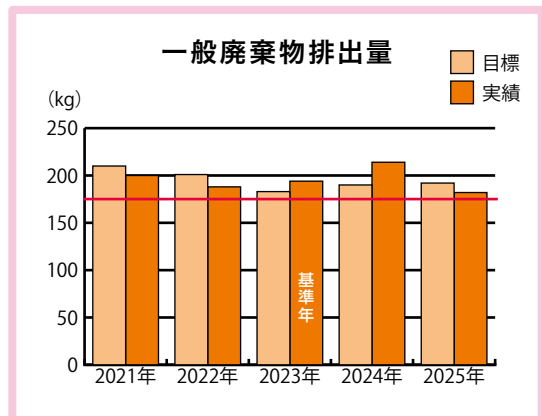
EA21事務局で毎月発行している「環境活動通信」では、毎月のコピー・出力使用枚数と前年使用枚数を掲載しています。これにより、各部門での使用量が明確化されて削減意識は向上し、出力前にはプレビュー確認、コピーの縮小・両面・集約機能の活用が実施できています。使用済み用紙は廃棄物となるため、廃棄物削減の意味でも継続実施が不可欠です。

08

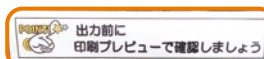
一般廃棄物排出量削減

2025年実績	目標達成率
181.8 kg	105.6%

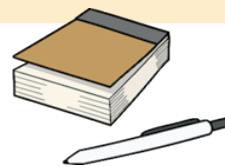
目標達成手段	対象部門	取組評価	次年度の取組
捨てる前に裏紙やメモ紙に再利用	東京営業所	◎	継続
			出力前にプレビュー確認でミスプリントを減らす 作業指示書入力ミスによる変更回数を減らす



取組内容



出力前にはプレビュー
で確認表示



やってみよう! Reues

捨てる前にもう一度使えないか考える

評価

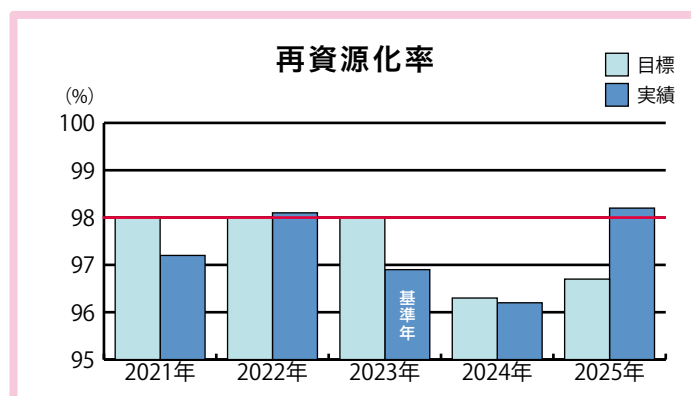
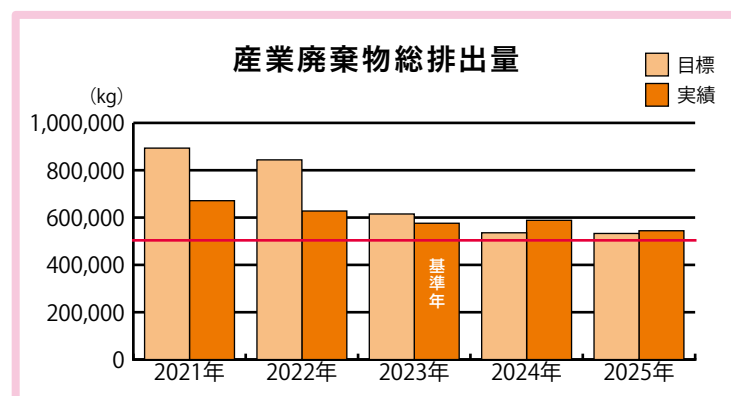
一般廃棄物は東京営業所からの紙類の排出物になります。東京都での排出物規制を遵守するため、分別処理を徹底しています。まず出力の必要性を考えることで出力紙を抑えることに繋がり、廃棄する前に裏紙やメモ紙に再利用して排出量を削減しています。次年度は出力前は慌てず、確認を怠らずプレビュー確認をして出力をしていきますが、Reuesも重要な取り組みですので継続していきます。



2025年実績	目標達成率	
総排出量 544,369.00 kg	97.9%	😊
再資源化率 98.2%	1.5 ポイントアップ	😄

評価

新都田工場のオフセット印刷では、余剰製品を作らないために最低製品数を計算して用紙を発注すること、印刷時に面付を工夫して掛け合わせ印刷することを重視して実施しました。オフリン工場では、刷り出し損紙数についてあまり気にしていなかったため、少しでも減らすことを生産本部長から指導しました。産業廃棄物収集・運搬業者より、硬プラスチック製品はリサイクル不可であると指摘されたため、事務局から発生部門に指導しました。今後も分別チェックを強化していきます。



目標達成手段	強化部門	取組評価	次年度の取組
リサイクル活動 プラスチック製クリアホルダー回収	情報管理課	◎	継続 取組強化部門経理課
リサイクル活動 トイレットペーパー芯分別廃棄	EA21事務局	◎	継続
再利用 印刷準備紙は使用済み準備紙を再利用	オフセット課	◎	継続
再利用 コピー、出力紙は裏紙利用	営業部	●	継続
廃棄物の分別指導	EA21事務局	◎	継続

取組内容

各部門内



廃棄物は先ず部門内で分別を実施
その廃棄物は倉庫内で品目ごとに保管

廃棄物保管倉庫内



廃棄物倉庫内は品目ごとに専用 BOX があり、何をどこに入れるかが
一目でわかる表示



廃棄物排出量の削減と、資源循環社会の実現に向けた取り組みに参加しています。

アスクル株式会社様が実施する「アスクル資源循環プラットフォーム」に参加し、使用済みクリアホルダーの回収リサイクルを実施しました。これは単一素材、同一形状であるクリアホルダーを回収し、再資源化・商品化するプラットフォームです。回収されたクリアホルダーは、アスクル株式会社様のプラットフォーム中で、分別され、再生ペレット化されたのち、新たなプラスチック製品へと生まれ変わります。

今年度の排出量は15.5kg、2023年開始からの総排出量は54.5kg

『捨てればゴミ、分ければ資源』を合言葉に、次年度以降もこの活動を実施していきます。



10. 取組結果とその評価・次年度の取組計画



目標評価基準

目標達成率が
100%以上



目標達成率が
95%100%未満



目標達成率が
95%未満



取組評価基準

◎ よくできた

● できた

× 不十分・できなかった

10

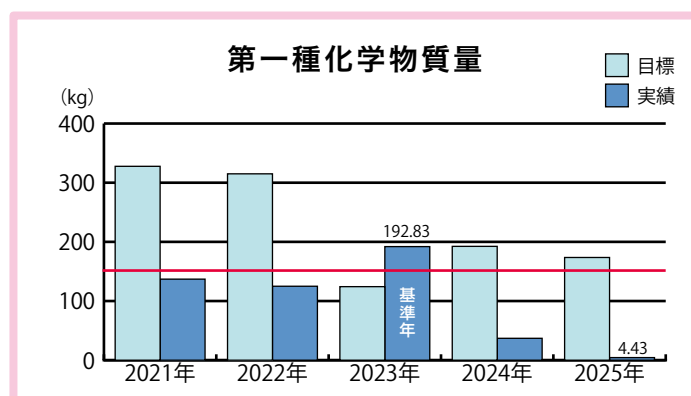
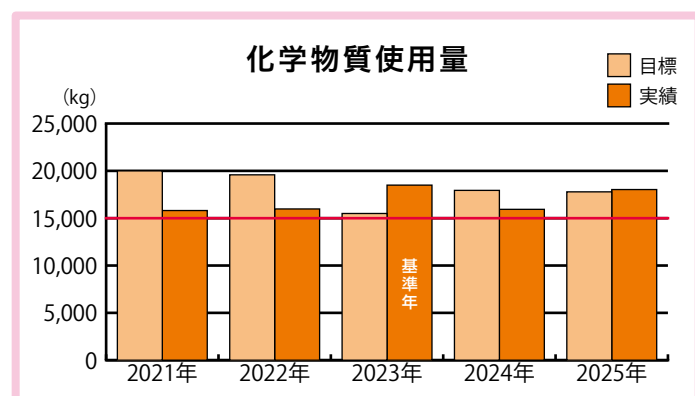
化学物質使用量削減



評価

2023年化学物質排出把握管理促進法の政令改正により、第一種化学物質に該当する物質が増えてしまったため、2024年度よりオフセット課で主に使用する第一種化学物質を含む洗浄剤の使用を停止したことで、他の洗浄剤に代替することができたため、第一種化学物質量を大幅に削減することができました。化学物質リスクアセスメント「クリエイトシンプル」手法によりリスクが高い製品は、リスクが低い代替品の検討と第一種化学物質非含有、及びリスクレベル低減措置として代替品を次年度以降も促進していきます。また、労働安全衛生規則の改正による皮膚等障害化学物質等にも対応していき、従業員の健康障害を防止していきます。

2025年実績	目標達成率
使用量 18,027.15 kg	98.7%
第一種化学物質 4.43 kg	3,917.5%



目標達成手段	強化部門	取組評価	次年度の取組
洗浄剤、H液等化学物質の代替品検討	オフセット課	●	継続
過度な使用をなくす	オフリン課	●	継続
化学物質リスクアセスメント	安衛委員会	●	継続

取組内容

化学物質の安全管理で使用量削減



絵表示、注意喚起語、安全対策等を表示



洗浄剤を小分け容器に移して使用することで使用量を最低限に抑えることができる
わかりやすく絵表示等も表示
労働安全衛生法の遵守及び誤使用を避けるため、小分け容器は洗浄剤ごとにキャップの色を変えて工程内で統一

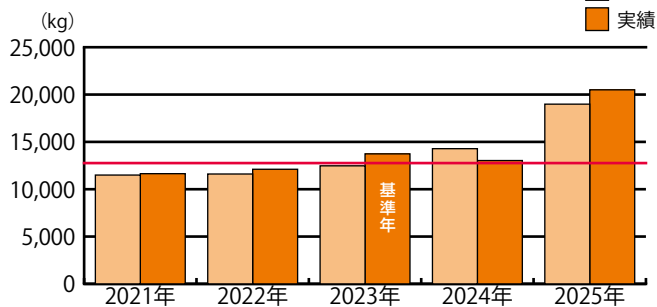


2025年実績	目標達成率	
製造量 20,501.20 kg	108.0%	😊
FSC®製品 受注件数 65 件	154.8%	😊

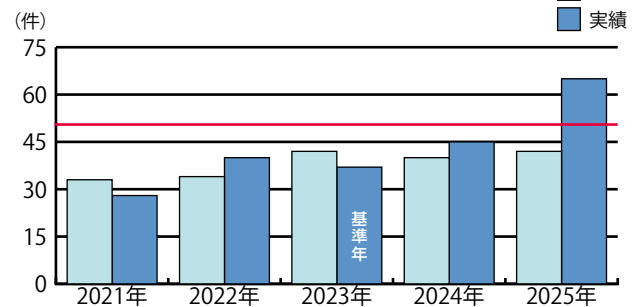
評価

お客様のSDGsへの取り組みにより年々FSC認証製品への関心が高まっています。当社はこれをチャンスと捉え、営業活動での販促の他、「ビジネスマッチングフェア」に参加して、異業種企業にFSC認証製品等のPRを予定していましたが、営業部が企画を急遽変更したためPR活動ができませんでした。それでも、製造量及び受注件数は目標を達成できました。受注件数の増加は環境配慮型製品の知名度を上げることが出来ていると評価することができるため、次年度は営業部を中心にこれまで以上にPR活動を強め、製造量拡大に繋げていきたいものです。

環境配慮型製品製造量



FSC®製品受注件数



目標達成手段	強化部門	取組評価	次年度の取組
イベント参加による製品のPR	営業部	●	環境配慮型製品訴求活動



【環境配慮型製品】

印刷資材を環境配慮した用紙やインキ・加工資材を使用して『環境ラベル』を付けた印刷製品を環境配慮型製品といいます。

環境配慮型製品のメリット

- 1) 『環境ラベル』を付けた印刷製品を作るとは、環境保全としてのお客様の企業活動を広く一般に伝え、環境への取り組みが高く評価されることに繋がります。
- 2) 消費者の目に触れる印刷物に『環境ラベル』を付けることで、SDGsや2050カーボンニュートラル宣言への取り組みに繋がります。

消費者が消費行動を変える時代

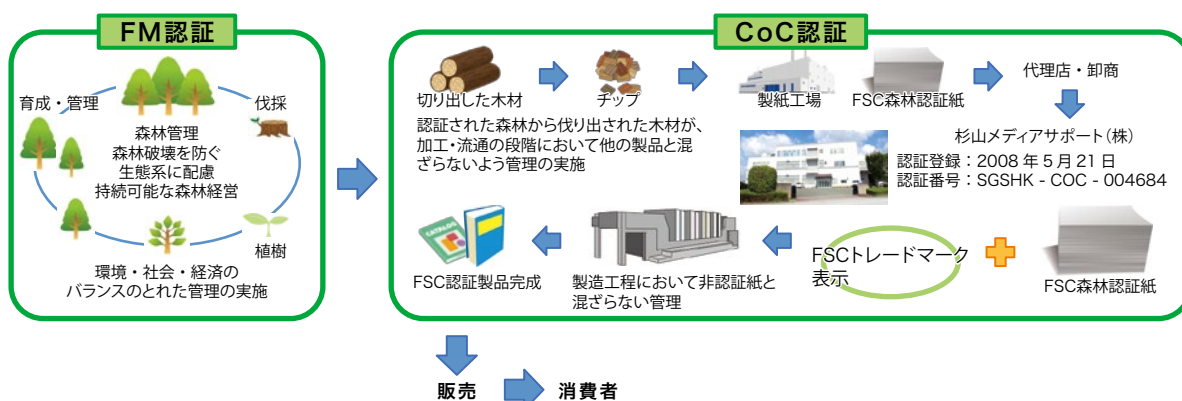
消費者が人権や環境に対して十分に配慮された商品やサービスを選択して買い求めるエシカル（倫理的な）行動に移行しています。エシカル行動は個人で実践できるSDGsの行動です。

当社が印刷物に付けることができる『環境ラベル』の種類

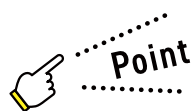
- 1) FSC®トレードマーク
- 2) グリーンプリンティング工場認定マーク
- 3) 植物油インキマーク
- 4) リサイクル適性マーク

環境配慮型製品として集計及び取り組みを実施しているFSC®トレードマークについて説明します

FSC®は木材を生産する世界の森林（FM認証）と、その森林から切り出された木材の流通や加工のプロセスを認証（CoC認証）する国際機関です。この認証は、1. 森林の環境保全に貢献している 2. 地域社会の利益になっっている 3. 経済的にも継続可能な形で生産されている これら3つの要件を満たした原料で製造された製品に、FSC®トレードマークを付けて消費者に届ける仕組みです。



10. 取組結果とその評価・次年度の取組計画



目標評価基準

目標達成率が
100%以上



目標達成率が
95%100%未満



目標達成率が
95%未満



取組評価基準

◎ よくできた

● できた

× 不十分・できなかった

12

社会貢献活動



環境経営目標項目	2025年目標		2025年実績	目標値評価
会社周辺清掃活動	2回		2回	-
取組内容	取組内容	取組内容	次年度の取組	
ごみ拾い、草取り	EA21事務局	◎	継続	

取組内容

隣接する神社や工場周辺ごみ拾い、歩道の草を取り工場周辺の環境美化に努めています。今年より一斉開催とし、短時間ではありましたが次年度も継続実施をしていきます。



環境経営目標項目	2025年目標		2025年実績	目標値評価
地域清掃活動参加	1回		1回	-
取組内容	取組内容	取組内容	次年度の取組	
「天竜川クリーン作戦」清掃活動	総務部	◎	継続	

取組内容

毎年台風シーズンが終わる11月に開催される「天竜川クリーン作戦」に2015年から継続参加をしています。近年の大雨による増水で流木やごみが多く天竜川に流れ込んでいるため、今後も継続参加をしていきます。



今年は、社長をはじめ8名で参加しました。小雨が降る中、清掃した地域は大きなゴミもなく、量としては多くありませんでしたが、段ボールの破片や花火のゴミらしき紙類のゴミを拾い集めました。

主催：国土交通省浜松河川国道事務所

環境経営目標項目	2025年目標		2025年実績	目標値評価
交通安全街頭立哨活動	4回		4回	-
取組内容	取組内容	取組内容	次年度の取組	
交差点での旗持ち	安衛委員会	◎	継続	

取組内容

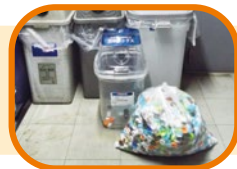
地域から交通事故を発生させないため、街頭活動を交通安全週間に合わせ、朝の通勤ラッシュ時に実施しています。地域からの事故発生はもとより、従業員の交通意識が高まり通勤時の事故も減少しました。次年度も継続実施をしていきます。



環境経営目標項目	2025年目標		2025年実績	目標値評価
エコキャップ運動	5,000個		5,000個	-
取組内容	取組内容	取組内容	次年度の取組	
ペットボトルキャップの回収	EA21事務局	◎	継続	

取組内容

近年は従業員のエコ意識が高まり、マイボトルを持参する人が増え、ペットボトル飲料の購入数は減っている状況です。購入する人はこの活動を実施していますが、実施していない人も見かけますので、事務局が啓発を呼びかけていきます。



◆2013年活動開始
◆累計排出個数 125,569個
◆ポリオワクチン 146.0人分
◆焼却時二酸化炭素発生抑制量 920.0kg-CO2

11. 環境対策・活動紹介

01

地球温暖化防止対策



◆二酸化炭素排出量削減

太陽光発電装置を2014年1月新都田工場の屋上に設置しました。発電量は全量売電ではありますが、太陽光発電はエネルギーを生成する際、二酸化炭素や窒素化合物などの有害物質を発生させないため地球環境保護に貢献している活動となります。

2025年実績／年間発電量：37,738kWh 年間温室効果ガス削減量：16,340.6kg-CO₂ /kWh

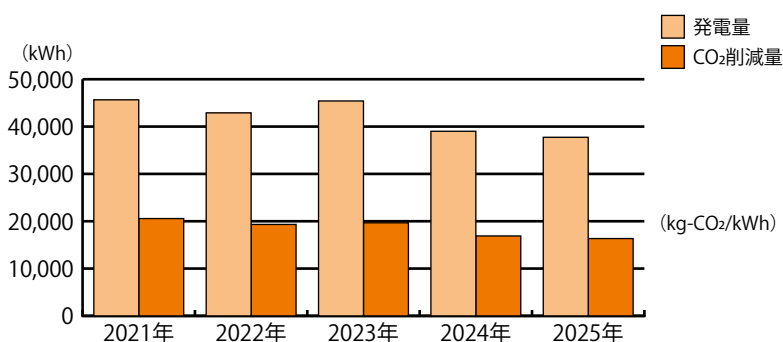
スギの木一本当たりの年間二酸化炭素吸収量14kg程度※に換算すると約1,167本相当になります。※出典：林野庁

✓2025年は夏場の暑さでパワーコンディショナーが故障したため、2024年の発電量よりさらに減少してしまいました。



新都田工場
発電設備出力 49.5kW
面積 1,000 m²

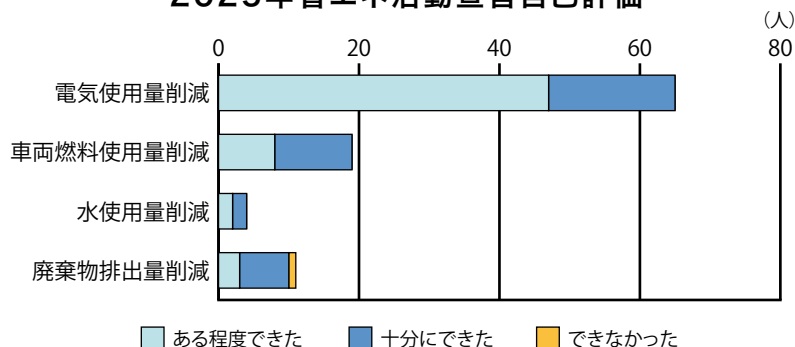
太陽光発電量・二酸化炭素排出削減量



◆省エネ活動宣言

従業員の省エネ意識を高めるため、一人ひとりが「省エネ宣言」をしています。毎年度初めに省エネルギーに繋がる取り組みを決定、年間をととしての実施とその結果を自己評価しています。2025年の省エネ活動をまとめてみたところ、「使用していないエリア」「昼休みや離席時」など消灯に関する取り組みが多かったことがわかりました。些細なことでも従業員全員で協力すれば効果は現れます。

2025年省エネ活動宣言自己評価



02

省資源・再利用・再生利用



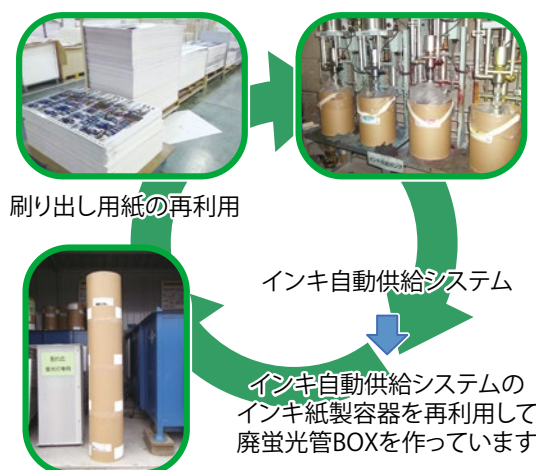
モノづくりの基本である「つくる責任とつかう責任」において、資源の使用量は必要最低限にすることが環境への負荷を小さくし、使えるものは繰り返し使い、限りある資源を大切に使うことが使命であると認識しています。また、作業工程における廃棄物の削減のため3Sを実施しています。

1. リデュース(発生抑制) 「ゴミを最初から出さない」
2. リユース(再使用) 「そのまま使う」
3. リサイクル(再生利用) 「再資源化する」

◆材料使用時の省資源

印刷用紙には、製品となる用紙の他、刷り出し損紙と印刷予備紙、加工予備紙が必要となります。この刷り出し損紙を削減するため、一度使用した用紙を繰り返し使用しています。一部印刷機にはインキ自動供給システムを設置して、必要な量だけのインキを自動的に補給し、最後までインキを無駄なく使用しています。

リデュース・省資源



11. 環境対策・活動紹介

◆ 製造時の廃棄物削減

枚葉印刷機インライン印刷品質検査装置を設置し、ピンホールなどの微細な不良から薄い地汚れ、色ムラなどの濃度変化を発見することで、無駄な不良印刷による資源や時間のロスを軽減しています。

枚葉印刷機稼働時のリデュース



4つのモニターで常に印刷不良を監視

◆ 製造時の再利用

印刷部門で使用するウエスは再利用可能なレンタル品と再生品を用途に合わせて使い分け、納品・出荷時の梱包資材は社内発生した本来ならば廃棄物となる物を再利用しています。

リデュース・リユース



リユース



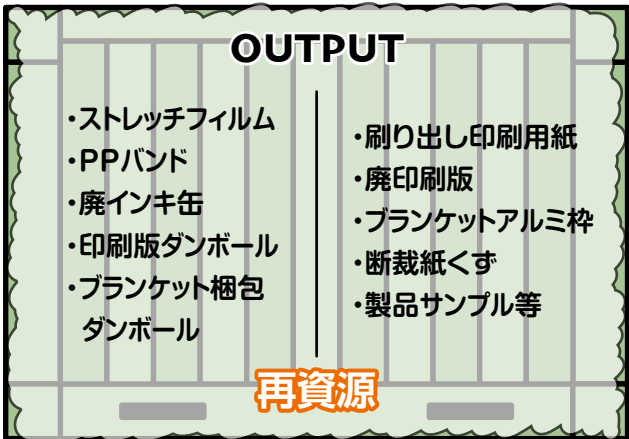
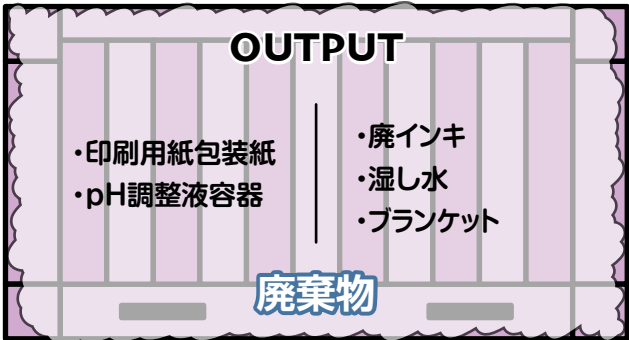
リユース



何度でも繰り返し使用可能なレンタルウエスと古着や古布を再利用したウエスを使用

印刷版の梱包ダンボールと合い紙は荷崩れ防止に再利用

◆ 廃棄物の排出



以下の集計表は、会社全体の産業廃棄物排出量と再資源化量及び再資源化率です。再資源量は、直接資源化量として排出したもので、中間処理後再生利用量は含みません。このとおり、再資源化率は毎年向上しています。

(kg)				(kg)			
産業廃棄物量	2023年	2024年	2025年	再資源化物	2023年	2024年	2025年
廃油	2,710	2,980	1,760	紙類（ダンボール含む）	523,458	546,758	514,970
木くず	4,400	8,800	0	廃印刷版	21,213	17,266	17,244
廃液	26.83	0	0	プラスチック類	670	590	1,360
廃プラスチック	12,950	10,060	8,100	鉄類	8,505	1,360	935
水銀使用製品産業廃棄物	230	0	0	合計	553,846	565,974	534,509
管理型混合廃棄物	1,870	624	0				
合計	22,186.83	22,464	9,860				
				再資源化率	96.1%	96.2%	98.2%



◆ 地域住民の方々と住み続けられる街づくり

当社のメイン機械である印刷機は特定施設に指定されているため、工場敷地内の環境保全はもとより、工場近隣住民の皆様に住みよい環境を維持するため、騒音・振動、悪臭、水質汚染、土壌汚染問題を発生させないように月末パトロールでの目視と、測定による監視を実施しています。測定は法に基づくものと、義務ではありませんが自主的に実施しているものがあります。



有資格者臭気測定



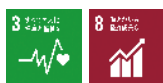
有資格者臭気測定



有資格者騒音・振動測定



従業員による騒音・振動自主測定



◆ 労働安全への取組み

化学物質や機械等を使用する従業員の労働安全を確保するために様々な規程や手順書を備え、有害物質に対する情報発信や始業前点検を実施しています。従業員には定期健診やストレスチェックの実施、対象従業員には特定健診を受診させるほか、要検査が必要な従業員には速やかな再診を推進しています。また、月1回発行している「総務通信」では健康管理情報を発信し、全従業員が健康でいつでも働ける職場を目指しています。



取組み内容

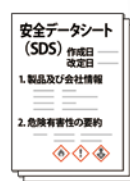
- ・化学物質リスクアセスメント
- ・作業環境測定（有機溶剤、作業騒音）
- ・安全パトロール
- ・パワハラ・セクハラ相談窓口設置
- ・作業前点検
- ・労働安全教育訓練
- ・受動喫煙策

断裁機は（プレス機械又はシャーの一種）に指定されています。入替を機に、メーカーによる作業前点検・作業手順・取扱注意事項の教育訓練を実施しました。

化学物質による労働災害を防止するために、労働安全衛生法令が改正され、「化学物質リスクアセスメント対象物質」が年々増加しています。これにより印刷時に使用する湿し水 pH 調整剤のエッチ液や、洗浄剤や製造メーカーが当社も厚生労働省が提供するリスクアセスメント支援ツール『CREATE-SIMPLE』を利用してリスクを見積り、リスク低減措置として代替を進めています。

代替品一覧

	用途	代替品	代替理由
2024年	インキローラー洗浄剤 他	4	PRTR第一種非該当品に切替
2025年	水棒洗浄剤 他	2	PRTR第一種非該当品に切替



最新版安全データシートと防護手袋を化学物質使用部門に完備



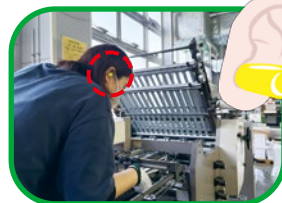
VOC（揮発性有機化合物）の発生を防ぎ、従業員の健康被害を防ぐとともに、窓開放を禁止して近隣住民への環境汚染を防止



使用済みウエスは専用 BOX に入れて必ずフタをすることを徹底



製本部門エリアは、折り行程時の紙の厚さにより音が大きくなるため「必要に応じて耳栓着用」をするように指導しています



11. 環境対策・活動紹介

05

働き方改革



◆働きやすい職場づくり

これまで残業時間が多かった従業員の業務軽減のため、部署内での業務の補佐や部署の垣根を超えた業務支援を実施して残業時間の削減を実施しています。これにより、業務の平準化や従業員のスキルアップ、仕事のやり方を他目線から取り入れた業務の簡素化などに繋がっています。



◆仕事と育児の両立支援

産前産後休業・育児休業を取得しやすいよう、各部署で該当従業員が長期間休んでも、仕事に支障をきたすことがない体制をつくっています。育児休業は男性・女性どちらでも取得可能であり、現在までの取得実績は10名になります。その他子育て支援として、時差出勤や時短勤務（子供が3歳になるまで）の制度を設けています。

06

社会貢献活動

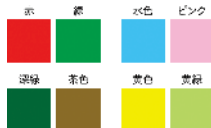


◆メディア・ユニバーサルデザイン (MUD) 普及活動

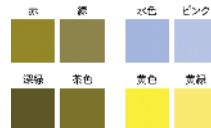
当社は誰もが使いやすく、見やすいメディア情報を提供することで、より良い社会環境づくりを目指す「メディア・ユニバーサル・デザイン (MUD)」に取り組んでいます。ものの見え方は、年齢や色覚障がい、国や生活様式により様々です。より多くの方により正確に情報を伝えるためには、この点に配慮して発信しなければなりません。従業員が積極的に MUD の知識や技術を学び、企画やデザインに取り入れています。さらに MUD を広く知ってもらうための活動も展開しています。

メディア・ユニバーサルデザイン (MUD) とは、障害の有無や年齢、性別、人種などにかかわらず、たくさんの人々が利用しやすいように製品やサービス、環境をデザインする考えに基づき、文字や色の使い方などに配慮・工夫することで、色弱者や弱視者をもとより、一般の人、高齢者、子供、外国人など、より多くの人が見やすく、分かりやすい情報提供を行うことです。

(例)
一般色覚者の見え方



色覚障害者の見え方



メディア・ユニバーサルデザインコンペティションへの挑戦

「メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」は、高齢者・障がいのある方・子ども・外国人などに対し、見やすさや伝わりやすさに配慮したデザインアイデアを競うもので、当社は毎年このコンペティションに挑戦しています。これまで数多くの受賞作品がありますが、2021年第15回開催の応募作品のうち、「レジカード」が一般の部で最上位賞である経済産業省大臣賞を受賞しました。

◆AEDマップ・AEDステーションへの登録

日本救急医療財団が管理する AED 設置情報「財団全国 AED マップ」に登録をしているため、従業員に限らず緊急時に要請があれば、当社従業員の付き添いのもと社外への貸し出し・使用も可能で、近隣の方々にもご利用いただけるようにしています。また、浜松市では緊急時に市民が使用できる AED を利用しやすい環境づくりを推進することを目的に「はままつ AED ステーション」登録制度を 2019 年 11 月より開始したため、新都田工場は 2020 年 3 月にこの制度に登録しました。



AED機器の日常点検、機器・パッドの有効期限確認を実施しています

◆交通安全立哨活動

地域から交通事故を発生させないため、街頭活動を 2019 年から始めました。全国交通安全週間や、静岡県交通安全県民運動期間の朝の通勤ラッシュ時に合わせて実施しています。ここ数年、新都田工場周辺は第二東名スマートインター開設に伴い、大型企業の進出による通勤車両と物流車両の増加など、事故増加要因が増えました。地域からの事故発生はもとより、従業員の交通意識が高まり通勤時の事故も減少しました。



令和6年度優良安全運転管理事務所として
新都田工場が表彰されました 2025年5月

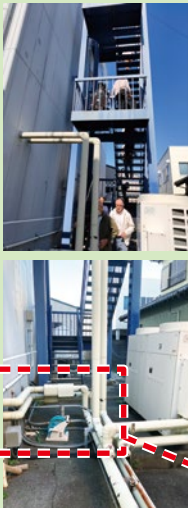
12. 緊急事態対応訓練



◆ 避難・消火訓練

火災や地震の発生を想定し、従業員がいつでも落ち着いて行動ができるよう年1回を目安に避難訓練を実施しています。繰り返し訓練を実施していることでさまざまな問題も浮上し、その対処も実施しました。例えば、印刷現場では機械音により館内放送が聞こえないため、拡声器やハンドベルを使用するようになりました。また、当社の原材料は印刷用紙で可燃性が非常に高く、火災延焼を最小限に止めるため従業員による初期消火訓練を実施しています。

丸塚営業本部



実施日
2025/10/27

訓練内容
火災を想定しての避難訓練
避難経路と災害時の行動の再確認

避難計画
3階給湯室で火災発生→避難開始→点呼

訓練報告
事前の打ち合わせがあったため、避難開始からの動きはスムーズに実施できた。
避難後の整列・点呼も臨機応変に対応できたため、目標としていた5分を大幅に切り3分24秒で点呼確認まで実施できた。

問題箇所

東京営業所



実施日
2025/10/17

訓練内容
初期消火と避難訓練

避難計画
給湯室で火災発生→初期消火→消火失敗→避難開始→点呼

訓練報告
避難に要したタイムは3分22秒でした。大きな道路を渡るため、その点注意が必要。消火器担当を今回女性にしていたが、消火器が重かったため男性に変更した方がいいのかなと感じました。

新都田工場



実施日
2025/10/2

訓練内容
消防総合訓練、消火器訓練

避難計画
3階サーバー室で火災発生→初期消火→消防署通報→館内放送（避難指示）→点呼

訓練報告
避難目標タイム3分に対し2分36秒で避難終了。
避難事前打合せがしっかりとできていたためスムーズに行動ができた。

印刷現場では館内放送が聞き取りにくいので、ハンドベルを常備



静岡営業所



実施日
2025/12/26

訓練内容
初期消火訓練と避難訓練

訓練報告
消火器を持ち上げて使用したため、重く思うように消火ができなかった。
消火器を下に置いてホースを火元に向けて方法で実施していく。避難時間約4分

拠点	問題点	改善点
丸塚営業本部	①3階非常口の扉の開閉がスムーズでなかった ②配管を跨いでの避難は緊急時には危険	日常点検を実施する 通りやすくするための配慮を検討する
東京営業所	消火器が重かった	消火器担当者は男性に変更
新都田工場	消火器訓練は毎年実施しているため充分にできている	訓練内容を変える
静岡営業所	消火器が重かった	消火器は床に置いて使用

◆ 廃油流出訓練

廃油(廃インキ)流出訓練を年1回実施して、手順書の有効性を確認しています。廃インキはドラム缶を利用して排出します。ドラム缶の蓋は工具を使用して締めますが、稀に閉め方が弱いと蓋が外れやすいため、訓練は閉め方の再確認から実施します。



締め方再確認

新都田工場

実施日 2025/10/2
見ているだけの人がいたため、今後は協力して実施していきます。
次回はウエスではなくロール型不織布を使用してみます。



丸塚オフリン工場

実施日 2025/11/17
安全確保の流れがスムーズにできました。
ロール型不織布を使用して流出を防いだことで迅速に対応できたと思います。



12. 緊急事態対応訓練

◆ 災害時の備え

いつ起こるか予測できない南海トラフ巨大地震や近年の地球温暖化が原因とされる台風被害に備え、飲料水や簡易トイレ、懐中電灯やインキ缶落下防止対策を実施しています。

棚に並べられたインキ1kg缶の落下防止対策として、金網ネットを使用しました。フック型金具を取り付けて開閉は自由にできます。また、ロール紙の転がり防止対策として木製のストッパーを使用しています。



安全衛生委員による
月1回懐中電灯点灯確認

13. 内部・外部コミュニケーション

エコアクション21の取り組みを段階的に発展させるためには、組織内外の関係者と情報を共有し、双方向のコミュニケーションを図ることが必要です。内部コミュニケーションでは、全従業員に対してエコアクション21の取組内容など、環境経営を推進するに当たって重要な情報を伝達して理解を深めます。外部コミュニケーションでは、環境経営レポートに基づく情報公開によりエコアクション21を適切に運用していることを示し、社外との関係者との対話を促進します。また、環境に関する苦情や要望などには適切に対応します。当社は組織内外の関係者とのコミュニケーションに関する取り組みを行うことにより、関係者との相互理解や協働が一層促進することを目的に、内部・外部コミュニケーションを積極的に推進しています。

01

内部コミュニケーション

◆ 方針発表会開催

毎年期首に実施している方針発表会では、全従業員に対して環境経営方針と環境経営目標、環境経営計画等について周知徹底を図っています。



◆ 手順書の共有

エコアクション21「管理マニュアル」と「取組手順書」は、社内共有フォルダに掲載しているため、内容は部門責任者や従業員がいつでもアクセスして確認できる状態にしています。

◆ 『環境活動通信』と『環境だより』発行

環境経営目標に対する進捗状況を毎月『環境活動通信』にまとめ、発行・掲示をしています。環境負荷物質使用量は数字だけではなくグラフ化するなど従業員の目に止まるように工夫しています。それと同時に、最近の環境に関する話題や問題に対する取り組みや関連法改正内容、ちょっとした環境情報などを『環境だより』として発行しています。



毎月の使用量前年同月比



目標に対する実績値グラフ化

改善・提案制度

工場内の3M（ムダ・ムリ・ムラ）で課題を解決しましょう

- 1. Quality（品質）：工程上のミスの撲滅、製品の質の向上
- 2. Cost（費用）：人件費や無駄な費用の削減
- 3. Delivery（納期）：作業ステップの削減や納期の短期化



募集中

◆ 情報開示

「環境経営方針」「環境経営レポート」は、当社を訪問された方々にお気軽にご覧いただけるよう、常に来客フロアに掲示し、ホームページにも掲載しています。ご覧いただきましたレポートの感想も受け付けるアンケート用紙も添付して外部からの意見を参考にしています。

来客フロア・ホームページ



寄せられた貴重なご意見等

産業廃棄物収集・運搬会社からの要望

再生廃プラスチック類の中に硬質プラスチックが混入しているが、硬質プラスチックは再生処理が困難であるため産廃プラスチック類で排出して欲しい

硬質プラスチック発生部門に連絡

部門長より課員に周知
回覧表にて確認済



ビジネスマッチングフェア2025

2025年7月23日から24日に開催された「ビジネスマッチングフェア」に出展しました。今年は「動き出すイベント・展示会を、サステナブルに支援する」をテーマに、販促資材を中心にアピールしました。ご来場いただきました方には、印刷の過程で出た廃棄してしまう端紙をアップサイクルしたルーズリーフを配布しました。



ビジネスマッチングフェア2025の出展に合わせ、Instagramのアカウントを開設しました

インスタはじめました!

\Follow Me!



杉山メディアサポート株式会社

Instagram

印刷のこと、販促物、web 情報のほか、環境活動や地域清掃活動などの活動を紹介します。当社の活動をもっと多くの方に知ってもらうために情報発信ツールとして活用していきます。

是非、インスタ登録をしてコメントをお願いいたします。

これからも社外コミュニケーションの場として邁進していきます。

Check!



14. 環境関連法規制等の遵守状況

当社はものづくりにおける大気、騒音、振動などの環境への排出に気を配り、周辺地域に与える環境への影響を抑えています。
2025年度の環境法令等の遵守を評価した結果、「環境関連法規等一覧表及び遵守状況確認表」に示した通り、問題がないことを確認しました。
今後においても、法令遵守等のコンプライアンスの向上に努めて参ります。

◆ 違反、訴訟等の有無

地域住民からの苦情や訴訟はありませんでした。また、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

※対象法規を一部省略  評価実施日：2026年1月28日 評価者：EA21事務局 曾我 晴美 確認者：環境管理責任者 清水 亨
遵守評価 ◎ 遵守できている ○ 一部遵守できていない ✕ 遵守不十分・遵守できていない

法令・条例	条項	要求事項	該当施設・該当項目等	義務	遵守
静岡県生活環境保全条例	第3条	事業者の責務	環境マネジメントシステムを導入し、環境への負荷の低減	遵守	◎
大気汚染防止法	第17条	事業者の責務	VOC発生抑制	遵守	◎
悪臭防止法	第7条	規制基準 1・2・3号基準	対象：全ての工場、事業場	遵守	◎
水質汚濁防止法	第5条	特定施設の届出	自動式フィルム現像液洗浄施設（現像機）	特定施設停止中につき	◎
		有害物質使用特定施設	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	変更届済	
	第12条	構造基準	定期目視点	記録	◎
	第14条	事業者の責務	排出規制措置、排出状況把握、汚濁防止措	遵守	◎
土壤汚染対策法	第4条	土地の形質の変更届出	3,000㎡以上の土地	届出	変更なし
下水道法	第12条	特定施設の届出	自動式フィルム現像液洗浄施設（現像機）	届出	◎
		特定事業場排除制限	下水排除基準	遵守	◎
		水質測定と記録	水素イオン濃度他対象物質 pH・温度 1回/日	記録	◎
騒音規制	第52条	特定施設規制基準	基準値：第4種区域	遵守	◎
	第53条	特定施設の届出	空気圧縮機、印刷機械、冷凍機	届出	◎
振動規制	第79条	特定施設規制基準	基準値：第2種区域の2	遵守	◎
	第80条	特定施設の届出	圧縮機、印刷機械	届出	◎
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 浜松市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第3条	事業者の責務	廃棄物の適正処理、廃棄物の減量	遵守	◎
	第12条	委託基準	産業廃棄物、特別管理産業廃棄物	遵守	◎
		保管基準	表示、飛散・浸透防止	遵守	◎
		処理基準	収集運搬・処分業者委託契約	遵守	◎
		実地確認	優良認定事業者は処理状況の確認	記録	◎
		管理責任者の届出	産業廃棄物、特別管理産業廃棄物	届出	◎
		管理票交付、保管	マニフェスト発行、照合、保管	記録	◎
		管理票交付等状況報告書	行政への報告	報告	◎
フロン排出抑制法	第5条	使用するフロン類の適正管理	第一種特定製品： 業務用空調機器、チラー等	遵守	◎
	第16条	管理者判断基準	機器の適切な設置、適正使用環境の維持・確保	遵守	◎
		機器の整備委託と記録保管	簡易点検 1回/3ヶ月	記録	◎
			定期点検 1回/3年 対象：7.50kW以上50kW未満の機器	記録	◎
	第19条	算定漏えい量報告	1年度内1,000t-CO ₂ 以上	報告	非該当
化学物質排出把握管理促進法 PRTR制度	第4条	事業者の責務	第一種及び第二種指定化学物質の使用と管理	遵守	◎
	第5条	第一種指定化学物質取扱い把握	年間1t以上	報告	非該当

拠点	点検	点検日	対象機器数
丸塚営業本部	簡易点検	1回/毎月	24台
	定期点検 1回/3年	前回2023/5/10実施	4台
	定期点検 1回/1年	—	該当なし
新都田工場	簡易点検	1回/3ヶ月	44台
	定期点検 1回/3年	前回2024/3/5実施	10台
	定期点検 1回/1年	—	該当なし
静岡営業所 東京営業所	賃貸オフィスにつき、貸主管理及び点検実施		



15. 内部監査

エコアクション 21 では規模が比較的大きな組織（概ね 100 人以上）において、年 1 回以上の内部監査の実施が必要となります。当社は従業員数が 100 人以上であるため、下記の内容にて内部監査を実施しています。

当社の内部監査

- ・環境経営システムが本ガイドラインで規定する要求事項及び組織が定めたルールに適合しているか
- ・環境経営目標が達成されているか（あるいは達成できるか）
- ・環境経営計画が適切に実施され、環境への取組及び環境経営システムが継続的に改善されているか

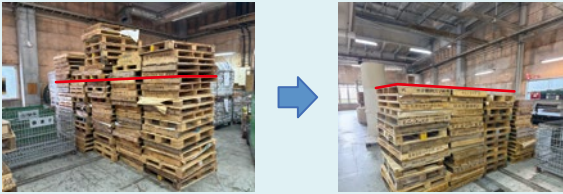
これらを確認すべく、内部監査手順書に従い内部監査を実施してその結果を代表者に報告します。また、内部監査で問題が発見された場合は、是正処置及び予防処置を行い記録しています。

2025 年度の内部監査の結果、是正及び予防処置となる問題点がありましたので、「問題点は正 / 予防処置票」にて報告をしました。

内部監査報告書 内部監査員：馬淵 裕康、藤田由華子

被監査部門	監査実施日 / 指摘事項の有無		問題点は正確認日	環境経営システムの有効性評価
丸塚営業本部	2026 年 1 月 20 日 訪問 無 ・ 有 (観察・指導事項)	木パレット 高さ制限超過	-	有効
静岡営業所	2026 年 1 月 21 日 机上 無 ・ 有 (観察・指導事項)	-	-	有効
東京営業所	2026 年 1 月 21 日 机上 無 ・ 有 (観察・指導事項)	-	-	有効
新都田工場	2026 年 1 月 24 日 訪問 無 ・ 有 (観察・指導事項)	産廃掲示板 落下	2025年3月25日	有効

丸塚営業本部 指導事項内容：木パレット積み上げ高さ制限



新都田工場 問題点は正処置内容：産業廃棄物掲示板落下



Check 環境経営計画未達成部門
電気使用量削減に向けた取組みは正処置

ブリブレス課 作業フロアの集約
実施できなかった理由：
計画ができず、手つかずとなってしまった

是正処置：次年度に再チャレンジ
3～5月 照明機器使用可能箇所調査 業者委託
6～7月 フロア配置検討
8～9月 フロア配置替え

Check 環境経営計画未達成部門
LPガス使用量削減に向けた取組みは正処置

オフセット課 LPガス使用空調機フィルター清掃
実施できなかった理由：
業務多忙を理由に実施した機器が少なかった

是正処置：次年度に再チャレンジ
オフセット課 毎月実施することを部門内徹底
BF課でも取組計画追加 2基をフル稼働しないので
効率よく使用する

Check 物流課、営業部は燃費意識をさらに高めるためは正処置票提出

物流課
部門内ミーティング、朝礼等で周知徹底
①安全運転
②早めのエンジンブレーキ活用
③タイヤの空気圧チェック
④エアコン使用は必要最低限
⑤燃費目標を共有する
月末に燃費算出
燃費未達成者と車両点検未実施者へフィードバック



営業部
「燃費を良くする運転のコツ」を参考に、車両ごとに燃費向上へ向けた取組みを宣言します。
・不要な荷物は載せておかない
・時間にゆとりを持って運転できるようスケジュールすることで
急な運転を避ける
・エアコンを使いすぎない
・急発進、急加速、急停止、アイドリングを控える
・車間距離をあけ、安全運転を心掛ける
普通車平均燃費 /2025 年実績 14.29km/L 次年度目標 14.72km/L
軽自動車平均燃費 /2025 年実績 17.69km/L 次年度目標 18.22km/L



16. 代表者による全体評価と見直し・指示

1年間目標を掲げて取り組んできた評価として、改善できた部分もあれば、前年に対して横ばい、悪化している部分もありました。仕事量との兼ね合いもありますので、一概には言えませんが、まだまだ継続して取り組んでいかなければならないと改めて感じております。ガス、電気、水の使用量は常についてまわるものですので、より一層の削減努力は必要になってきます。ただ、社員の意識は自然と身についてきているところもあるかと感じます。何気なくやっていることが成果につながっていることもあります。やはり、会社全体で共通認識を持って、継続して取り組んでいくことが重要です。今後も各項目の数値を真摯にとらえ、常に改善意識を持って取り組んでいきたいです。

2026年2月3日 代表取締役 永井 元幸

環境管理責任者から代表への報告	代表者の評価
◆環境経営目標の達成状況、並びに環境経営計画の実施状況 ・液化石油ガス (LPG) の使用量増加は、夏場の外気温が高く工場内を 25℃に保つため使用量が増加したが、従業員が一人だけのフロアでも使用していたり、同一フロアで 2 台をフル稼働していたり、使い方の工夫が足りませんでした。 ・水使用量は新都田工場の使用量が増加しましたが、特定の印刷物以外は湿し水の交換は頻繁ではないため増加原因は不明でしたので、期中から水漏れ点検を実施した結果、問題はありませんでした。今だ原因は不明です。 ・ガソリン量減少と軽油量増加は、2023 年比較で物流車両 1 台をガソリン車から軽油車に入替したためです。 ・プリプレス課では計画にある「作業フロアの集約」が実施されませんでした。	電力使用量削減のため丸塚営業本部では、時差出勤や印刷機械をすべて稼働しないように、集約しての対応を行い、その成果が得られたようです。全体の取組みとして成果が出ている面もありますが、成果につながっていない面もあります。
◆近隣住民等からの苦情・要望の受付及び処置状況 苦情・要望等の連絡はありませんでした。	常に近隣に迷惑をかけないような対応を工場は心掛けていております。
◆環境法規制等に対する遵守状況、並びに定期確認結果 違反、訴訟等はありませんでした。	細心の注意を払いながら、対応しております。
◆是正処置及び予防処置の実施状況 【監査によるもの】 ・内部コミュニケーションツールとして「改善・提案書」募集案内メールを再度送信しました。 ・営業車及び物流車において目標燃費を大きく達成できていない社員がいましたので、燃費向上策を営業個人と物流部門長に提唱していただきました。 ・産業廃棄物「木くず」掲示パネルが落下したままでしたが、元の場所に掲示をしました。 【目標と計画に関するもの】 ・プリプレス課の次年度も「作業フロアの集約」を計画に取り入れ実施に向けた計画書を提出していただきました。 ・LP ガス使用部門に次年度計画（改善策）を提出していただきました。	現状の把握、問題点の洗い直しを行い、改善するように、実施の指示を営業会議と月曜会議で出しました。
◆前回の指示事項への取組結果 審査員指導内容でもある「緊急事態訓練（火災・避難訓練、廃油流出訓練）」は各事業場で実施することができました。	緊急事態訓練は、発生した時に最低限、何をしなければならぬかを、改めて見直す機会となりました。今後も毎年実施するように指示を出しました。

取組事項	変更・指示	変更・指示内容 / アドバイス
環境経営方針	■変更なし □変更あり	－
環境経営目標	□変更なし ■変更あり	基準年 2025 年実績
環境経営計画	■変更なし □変更あり	－

環境に配慮された印刷製品の証、GPマーク

GP マーク（グリーンプリンティングマーク）とは、印刷業界の環境自主基準に基づき、事業者（工場等）の環境負荷低減への取組および環境に配慮した印刷製品を認定するという総合認定制度により、製品に表示できる『環境ラベル』です。一般社団法人日本印刷産業連合会が 1985 年に設立し、印刷業界の環境負荷の低減および市場へ提供する印刷製品の環境負荷低減を推進しています。

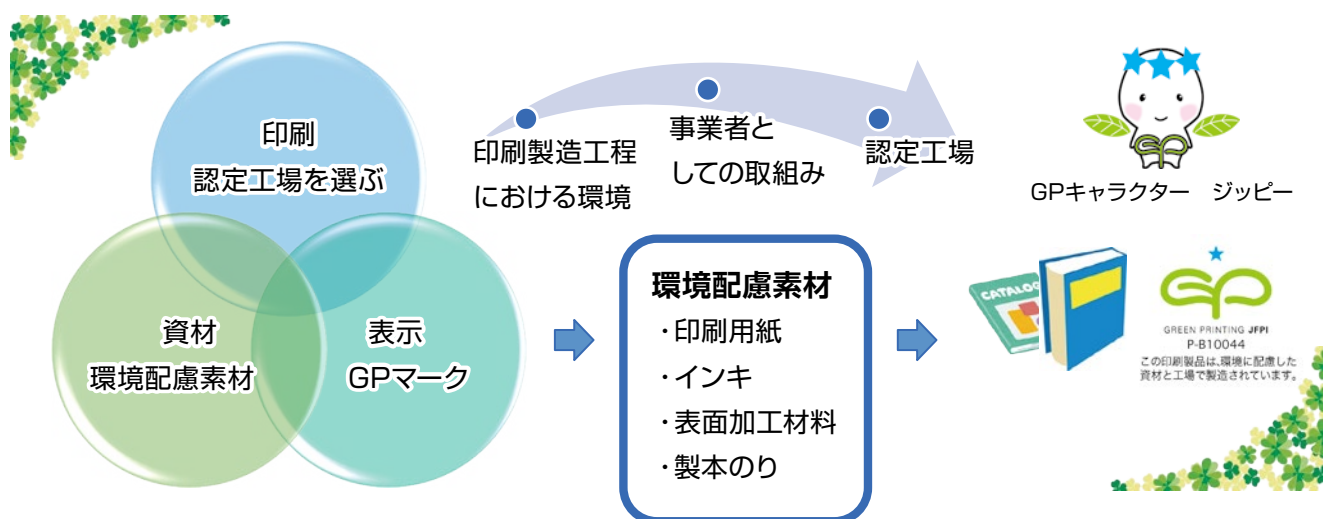
この制度の目的は、印刷資材、製造工程、印刷会社の取り組みの全ての観点から、環境への配慮を総合的に進める点にあることと、GP マーク（環境ラベル）を表示することで、環境問題に取り組む印刷会社が社会的な信頼を得られるようにするものです。

◆ グリーンプリンティングの3つの制度

- GP工場認定制度** 印刷物の製造工程において、環境に配慮している印刷工場を認定する制度
- GP資機材認定制度** 環境に配慮している資機材（洗浄液、エッチ液、印刷版、現像機、セッター、製版薬品、デジタル製品など）認定する制度
- GP製品認定制度** 印刷物の製造工程や使用する資材が、総合的に環境に配慮している印刷物を認定する制度

環境省の定める「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）の印刷サービスにおける基準に、より高い環境性能を示す「基準値1」の要件として、グリーンプリンティング認定制度が明記されました。

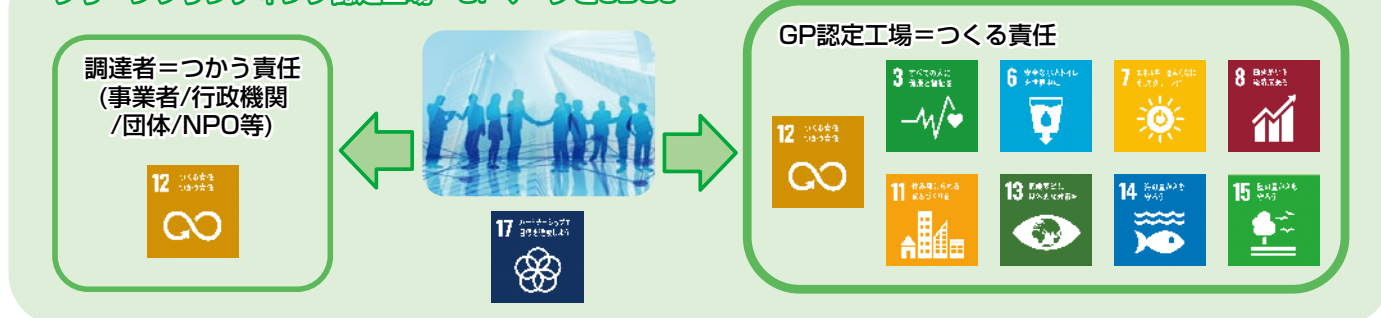
◆ 当社新都田工場はGP工場認定を取得しています



◆ グリーンプリンティングは、SDGsのゴールの一つである 「目標12：持続可能な生産消費形態を確保する」の実現に貢献できます



グリーンプリンティング認定工場・GPマークとSDGs



「持続可能な社会」。それは、地球環境を壊さず、資源も使いすぎず、未来の世代も美しい地球で平和に豊かに、ずっと生活を続けていける社会です。そんな社会を目指し、環境に配慮した印刷製品を作りませんか。

製本課に 突撃訪問

教えて!! 製本課ってどんな作業をするところ?

私たちの部門は、印刷課で刷り上がった紙を断裁、折り、綴じ、最終的に一冊の本や冊子へと仕上げる最終工程になります。

製本の作業には、規格サイズに切ったり折ったりする作業と、冊子の仕上げる作業などがあります。

ノーカーボン複写伝票などの糊付け、背貼りテープ加工などもしています。

2025年の省エネ活動個人目標とその反省を聞かせてください



鈴木：作業しない時は機械の電源を切る
自己評価 ある程度できた

製本課の強化取組内容：空調温度の適正管理（冷房 27℃、暖房 22℃）

評価 各課員が人任せにしている、全員の意識が低かった。
次年度は全員が意識を高めて継続実施していきます。

寺田：節電・節水を徹底する
自己評価 十分にできた

坂下：節電を心がける
自己評価 ある程度できた



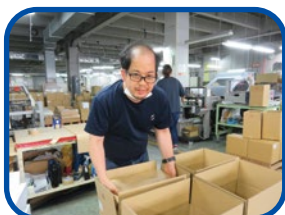
佐藤：こまめに消灯する
自己評価 十分にできた

仲山：節電・節水を徹底する
自己評価 ある程度できた

北村：こまめに電気を消す
自己評価 十分にできた

井村：2025年4月に入社しました
これからエコアクションの取組みの
ことを先輩方に教えてもらいます

山城：使用していない照明の消灯と、
省エネモードを活用する
自己評価 十分にできました



天野：昼休みや長時間席を離れる時は消灯します
自己評価 十分にできた

村松：長時間席を離れる時など照明を消す
自己評価 ある程度できた

🔍 折り製本の種類を一部紹介します



中綴じ冊子



無線綴じ冊子



4Pセンター折



6P外三つ折



8P観音折



6P巻三つ折





杉山メディアサポートはこれからも全社員一丸となり、
積極的に環境活動に取り組んでまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



私たちはSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献していきます



丸塚営業本部 〒435-0046 静岡県浜松市中央区丸塚町196-1
TEL 053-467-6000 FAX 053-467-6006

新都田工場 〒431-2103 静岡県浜松市浜名区新都田一丁目10番2号
TEL 053-484-1171 FAX 053-484-1170

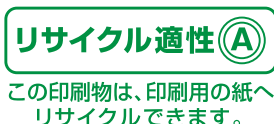
静岡営業所 〒420-0913 静岡県静岡市葵区瀬名川三丁目1番33号
TEL 054-267-3001 FAX 054-267-3003

東京営業所 〒153-0062 東京都渋谷区元代々木町33-8 元代々木サンサンビル2階
TEL 03-6412-7661 FAX 03-6412-7662

E-mail : soumu@sugi-p.co.jp (代表/丸塚営業本部 総務部)
URL : <https://www.sugiyama-ms.co.jp/>



責任ある森林管理
のマーク



この印刷物の資材は全てリサイクル対応型資材を使い、
環境に配慮したグリーンプリンティング認定工場で印刷しています